

平成 27 年 3 月 17 日  
内閣府公共サービス改革推進室

### 情報処理技術者試験事業の評価について（案）

競争の導入による公共サービスの改革に関する法律（平成 18 年法律第 51 号）第 7 条第 8 項の規定に基づく、標記事業の評価は以下のとおりである。

#### 事業の概要等

##### 1 実施の経緯及び事業の概要

独立行政法人情報処理推進機構（以下、「機構」という。）が所管する情報処理技術者試験事業については、公共サービス改革基本方針（平成 25 年 6 月 14 日改定を閣議決定）において、競争の導入による公共サービスの改革に関する法律に基づく民間競争入札（以下「民間競争入札」という。）を、「新プロセスの運用に関する指針」に定める新プロセスに移行したうえで実施することを決定した。これを受けて機構は、「情報処理技術者試験事業 民間競争入札実施要項」（以下「実施要項」という。）を定め、実施要項に基づき、民間競争入札を実施して受託事業者を決定した。その概要は以下のとおりである。

事 項	内 容
業務内容	<p>下記の旧支部等が実施していた「情報処理技術者試験実施事業（試験会場の確保、会場責任者・試験監督員等の確保及び割付、試験運営業務等）」に係わる業務</p> <p>旧関東支部（東京地域）、旧関東支部（東京周辺地域）、旧中部支部（名古屋地域）、旧近畿支部（近畿地域）、旧北海道支部（札幌試験地）、旧東北支部（仙台試験地）、旧中国支部（広島試験地）、旧四国支部（高松試験地）、旧九州支部（福岡試験地）及び旧沖縄支部（那覇試験地）</p>
契約期間	<p>平成 25 年 10 月 1 日から平成 28 年 12 月 31 日までの 3 年 3 か月間実施する試験は次のとおり。</p> <p>(1) 平成 26 年 4 月の第 3 日曜日に実施予定の平成 26 年度春期の試験  (2) 平成 26 年 10 月の第 3 日曜日に実施予定の平成 26 年度秋期の試験  (3) 平成 27 年 4 月の第 3 日曜日に実施予定の平成 27 年度春期の試験  (4) 平成 27 年 10 月の第 3 日曜日に実施予定の平成 27 年度秋期の試験  (5) 平成 28 年 4 月の第 3 日曜日に実施予定の平成 28 年度春期の試験  (6) 平成 28 年 10 月の第 3 日曜日に実施予定の平成 28 年度秋期の試験</p>

受託事業者 及び契約金額	試験地	受託事業者	契約金額 (税込)
	東京地域	日本通運株式会社	869,941 千円
	東京周辺地域	日本通運株式会社	663,409 千円
	名古屋地域	日本通運株式会社	104,760 千円
	近畿地域	日本通運株式会社	304,560 千円
	札幌	日本通運株式会社	29,840 千円
	仙台	日本通運株式会社	28,587 千円
	広島	株式会社 JTB サポート九州	24,624 千円
	高松	株式会社全国試験運営センター	9,496 千円
	福岡	日本通運株式会社	38,124 千円
	那覇	那覇商工会議所	11,902 千円
業務に当たり 確保されるべきサービスの 質	<p>試験会場の確保等業務</p> <p>ア．機構の試験会場の借り上げ実績を参考とした概ね交通の便が良く、清潔かつ静かな環境を備えた受験申請者数全数の収容を可能とする試験会場の確保。</p> <p>イ．マニュアルの「試験室の設営」を参考とし、余裕を持った試験室内の座席配置。</p> <p>試験運営業務</p> <p>ア．次に掲げる各項に特に注意を払いつつ、マニュアルに基づいた試験運営。 ただし、災害等非常時においては受験者の安全確保を第一とする。</p> <p>(ア) 試験問題の盗難、亡失及び事前漏洩の絶対防止</p> <p>(イ) 試験時間の過不足の絶対防止。</p> <p>(ウ) 不正行為の防止に努めるとともに、不正行為に対する厳正な対処。</p> <p>(エ) マニュアルを厳格に適用することによる正確かつ公平な出欠確認及び受験資格の確認。</p> <p>(オ) 受験者に配付した答案用紙及び受験票(本人控えは除く。)の全数回収。</p> <p>(カ) 回収した答案用紙への加筆及び訂正の絶対防止。</p> <p>(キ) 未使用答案用紙の欠席者及び部外者への流出の絶対防止。</p> <p>(ク) 個人情報の盗難、亡失及び漏洩の絶対防止。</p> <p>イ．試験会場の周辺住民の生活環境への配慮及び試験会場周辺での交通トラブルの防止。</p>		

## 2 受託事業者決定の経緯

入札参加者は前回一者応募であった那覇地域を含め、すべての地域で2者以上であり、いずれも入札参加資格及び必須審査項目を満たしていた。また、当該試験地ごとに開札したところ、東京地域及び近畿地域においては、予定価格を上回る価格であったため、複数回再入札を行い、予定価格の範囲内での落札となった。

表1 試験地（地域）ごとの入札参加者数

東京地域	東京周辺地域	名古屋地域	近畿地域	札幌	仙台	広島	高松	福岡	那覇
2者	2者	3者	2者	3者	4者	5者	5者	6者	4者

## 評価

### 1 評価方法について

平成27年3月2日に機構から提出された情報処理技術者試験事業の実施状況について（別添）に基づき、サービスの質の確保及び実施経費等の観点から、事業の評価を行うものとする。

### 2 対象公共サービスの実施内容に関する評価

#### 試験会場の確保等業務

ア．機構の試験会場の借り上げ実績を参考とした概ね交通の便が良く、清潔かつ静かな環境を備えた受験申請者数全数の収容を可能とする試験会場の確保。

交通の便が良い従来と同様の会場を基本として、受験者全員を確実に収容できる試験会場を確保していることから確保すべきサービスの質は達成できたものと評価できる。

イ．マニュアルの「試験室の設営」を参考とし、余裕を持った試験室内の座席配置。

機構が定めたマニュアルに基づき、1テーブル3名がけの机に2名を座らせるなど、受験者が試験に臨みやすい余裕を持った座席配置を行い、受験者間での苦情もなく試験が実施できたことから、確保すべきサービスの質は達成できたものと評価できる。

#### 試験運営業務

ア．次に掲げる各項に特に注意を払いつつ、マニュアルに基づいた試験運営。ただし、災害等非常時においては受験者の安全確保を第一とする。

(ア) 試験問題の盗難、亡失及び事前漏洩の絶対防止

機構が定めたマニュアルに基づき、問題用紙及び答案用紙について、試験前の厳重な保管、試験会場への確実な搬入など、試験問題の事前の漏洩がないよう、管理

の徹底が図られた。また、試験会場では、試験監督員全員が問題用紙及び答案用紙の管理を徹底し、受験者一人一人に確実に配布している。このように、試験前、試験会場においても、試験問題の漏洩がなく、確保すべきサービスの質は達成できたものと評価できる。

(イ) 試験時間の過不足の絶対防止

試験開始時間が遅延した場合、試験終了時間を調整することにより、試験時間の過不足を防止することとしており、試験時間の過不足は生じなかった。

(ロ) 不正行為の防止に努めるとともに、不正行為に対する厳正な対処

機構が定めマニュアルに基づき、机上におくことができるものの徹底、試験監督員による試験中の巡回監視などにより、不正行為の防止に努め、不正行為の発生がなかったことから、確保すべきサービスの質は確保できたものと評価できる。

(ハ) マニュアルを厳格に適用することによる正確かつ公平な出欠確認及び受験資格の確認

機構が定めたマニュアルに基づき、試験監督員が、受験者個々の受験票と受験者本人の確認等を通じて、正確に出欠及び受験資格の確認を行っており、確保すべきサービスの質は達成できたものと評価できる。

(ニ) 受験者に配付した答案用紙及び受験票（本人控えは除く。）の全数回収

受験者全員から答案用紙及び受験票を回収し、回収した答案用紙と受験票の枚数の一致も確認していることから、確保すべきサービスの質は達成できたものと評価できる。

(ホ) 回収した答案用紙への加筆及び訂正の絶対防止

試験終了後、回収した答案用紙への加筆や訂正は一件もなかったことから、確保すべきサービスの質は達成できたものと評価できる。

(ヘ) 未使用答案用紙の欠席者及び部外者への流出の絶対防止

答案用紙については、出席した受験者一人一人に対して、確実に配布・回収し、回収分と未使用分の合計が、受験者への配布前の枚数と同数であることも確認しており、確保すべきサービスの質は達成できたものと評価できる。

(コ) 個人情報の盗難、亡失及び漏洩の絶対防止

個人情報の盗難、亡失及び漏洩は一件もなかったことから、確保すべきサービスの質は達成できたものと評価できる。

イ．試験会場の周辺住民の生活環境への配慮及び試験会場周辺での交通トラブルの防止  
 試験当日、試験会場の規模等に応じた適切な人数を警備員として配置するなどの措置を行い、交通トラブルや周辺住民からの苦情は一件も発生していないことから、確保すべきサービスの質は達成できたものと評価できる。

### 3 実施経費

実施経費と従来経費との比較については、平成 26 年度（春期、秋期の試験 2 回分）と機構側が実施していた際の直前年度（春期、秋期の試験 2 回分）で比較しており、その結果は以下のとおりである。なお、実施経費は、3 年間の請負契約金額を単年度に等分しており、経費を比較するにあたり、従来経費については、試験区分の変更のあった初級システムアドミニストレータ試験及び IT パスポート試験に要した経費を除外している。

表 平成 26 年度開始業務における市場化テスト導入前との経費の比較

試験地	従来経費 (A)	実施経費 (B)	削減額 (B-A)	削減率
東京地域	347,430 千円 (H23)	289,980 千円	57,450 千円	17%
東京周辺地域	262,229 千円 (H23)	216,050 千円	46,179 千円	18%
名古屋地域	45,601 千円 (H23)	34,658 千円	10,943 千円	24%
近畿地域	101,340 千円 (H23)	100,353 千円	987 千円	1%
札幌試験地	14,082 千円 (H22)	9,758 千円	4,324 千円	31%
仙台試験地	15,518 千円 (H22)	9,043 千円	6,475 千円	42%
広島試験地	11,185 千円 (H20)	7,777 千円	3,408 千円	30%
高松試験地	5,190 千円 (H19)	2,974 千円	2,216 千円	43%
福岡試験地	24,146 千円 (H22)	12,479 千円	11,667 千円	48%
那覇試験地	1,829 千円 (H19)	3,940 千円	2,111 千円	115%
合計	828,550 千円	687,012 千円	141,538 千円	17%

対象地域ごとに見ると那覇試験地以外では全ての地域で従来経費に比べ下がっており、那覇試験地においては、従来経費より増加しているが、これは、同試験地の落札事業者が、市場化テスト第 1 及び 2 期目と同じであり、2 期目より今期は下がっていることから、これまでの実施状況を踏まえた経費の算定がよりできるようになったこと、受験申請者数の増減を踏まえたことによるものである。

なお、全体で見ると実施経費 687,012 千円は、従来経費の約 83%に相当し、約 141,538 千円の経費が削減されている。

#### 4 評価のまとめ

上述のとおり、確保されるべき公共サービスの質をすべて達成し、受験申請者数の多い試験地においては、会場責任者をはじめ、副責任者、主任管理員、主任監督員を事業者の社員で実施することにより、全試験地において集合教育等の教育体制や試験当日の実施体制が強化されており、また、全試験地の主任監督員以上のほぼ 100%が、事業者から集合教育を受けている等、試験事業を確実に遂行するための受託事業者の創意工夫が発揮されている。

実施経費は、増額となっている地域も見受けられるが、情報処理技術者試験事業全体で見ると従来経費 828,550 千円の約 83%に相当し、約 141,538 千円の経費が削減されていることは評価できる。

#### 5 今後の事業

本事業の市場化テストは、前回の事業評価の際に新プロセスに移行することとされ、今期が 3 期目（一部の試験地については 2 期目）であり、事業全体を通しての実施状況は以下のとおりである。

実施期間中に受託民間事業者への業務改善指示等の措置はなく、また、法令違反行為等もなかった。

独立行政法人情報処理推進機構において、外部の有識者等による実施状況についてのチェックを受ける体制が構築されている。

入札においては、すべての地域において 2 者以上の応札があり、競争性が確保されていた。

確保すべきサービスの質において、すべての目標を達成していた。

1 年あたりの経費については、市場化テスト実施前と比べ約 141,538 千円（約 17%）の削減がなされていた。

以上のことから、本事業については、監理委員会の関与がなくても引き続き適切に実施されることが見込まれるため、「市場化テスト終了プロセス及び新プロセス運用に関する指針」（平成 26 年 3 月 19 日官民競争入札等監理委員会） . 1 . ( 1 ) の基準を満たしているため、今期をもって市場化テストを終了することが適当であると考えられる。

なお、市場化テスト終了後の事業実施については、「競争の導入による公共サービスの改革に関する法律」の対象から外れることとなるものの、これまで官民競争入札等監理委員会における審議を通じて厳しくチェックされてきた公共サービスの質、実施期間、入札参加資格、入札手続及び情報開示に関する事項等を踏まえた上で、独立行政法人情報処理推進機構が自ら公共サービスの質の維持向上及びコストの削減を図っていくことを求めたい。

以上

## 情報処理技術者試験事業の実施状況について

平成 27 年 3 月 2 日

独立行政法人情報処理推進機構  
情報処理技術者試験センター

## 1. 事業概要

次の旧支部が行っていた試験実施事業（試験会場の確保、会場責任者・試験監督員等（以下「会場責任者等」という。）の確保及び割付、試験運営業務等）に係わる業務について、「競争の導入による公共サービスの改革に関する法律」（平成 18 年法律第 51 号）に基づく民間競争入札を行い、以下のとおり事業を実施した。

- ①旧関東支部（東京地域：東京及び八王子試験地）
- ②旧関東支部（東京周辺地域：埼玉、千葉、柏、横浜、藤沢及び厚木試験地）
- ③旧中部支部（名古屋地域：名古屋試験地）
- ④旧近畿支部（近畿地域：大阪、滋賀、京都、奈良、神戸及び和歌山試験地）
- ⑤旧北海道支部（札幌試験地）
- ⑥旧東北支部（仙台試験地）
- ⑦旧中国支部（広島試験地）
- ⑧旧四国支部（高松試験地）
- ⑨旧九州支部（福岡試験地）
- ⑩旧沖縄支部（那覇試験地）

## 2. 請負業務期間

平成 25 年 10 月 1 日から平成 28 年 12 月 31 日までの 3 年 3 か月間  
実施する試験は次のとおり。

- ① 平成 26 年 4 月の第 3 日曜日に実施の平成 26 年度春期の試験
- ② 平成 26 年 10 月の第 3 日曜日に実施の平成 26 年度秋期の試験
- ③ 平成 27 年 4 月の第 3 日曜日に実施予定の平成 27 年度春期の試験
- ④ 平成 27 年 10 月の第 3 日曜日に実施予定の平成 27 年度秋期の試験
- ⑤ 平成 28 年 4 月の第 3 日曜日に実施予定の平成 28 年度春期の試験
- ⑥ 平成 28 年 10 月の第 3 日曜日に実施予定の平成 28 年度秋期の試験

## 3. 落札事業者

（東京地域）	日本通運株式会社
（東京周辺地域）	日本通運株式会社
（名古屋地域）	日本通運株式会社
（近畿地域）	日本通運株式会社
（札幌試験地）	日本通運株式会社
（仙台試験地）	日本通運株式会社
（広島試験地）	株式会社 J T B ビジネスサポート九州
（高松試験地）	株式会社全国試験運営センター

(福岡試験地) 日本通運株式会社  
(那覇試験地) 那覇商工会議所



4. 東京地域（東京試験地、八王子試験地）

(1) 実施規模

表1 実施規模

	平成23 年度特別	平成23 年度秋期	平成24 年度春期	平成24 年度秋期	平成25 年度春期	平成25 年度秋期	平成26 年度春期	平成26 年度秋期
受験申請者数	81,189	67,533	68,346	67,752	64,739	65,422	61,732	65,269
会場数	101	62	53	55	45	46	40	47
事業実施機関	独立行政法人 情報処理推進機構		日本通運株式会社				日本通運株式会社	

※ 平成23年度特別試験の会場数は、6月実施分と7月実施分の延べ会場数である。  
平成23年度特別、23年度秋期の受験申請者数から、ITパスポート試験は除いている。

(2) 調査項目

- イ. 問題冊子の漏洩の数とその原因について
- ロ. 答案用紙の回収漏れの数とその原因について
- ハ. 試験日当日におけるクレームやトラブルの内容と対処方法について
- ニ. 実施経費

(3) 調査方法

独立行政法人情報処理推進機構（以下、「機構」という。）は、民間事業者から受けた請負事業の実施状況の報告、民間事業者へのヒアリング、受験者からの問い合わせ結果、回収した答案枚数等を通じて把握した。

(4) 調査結果

①平成26年1月～平成26年12月に実施した試験における調査項目イ、ロの結果

表2 調査項目イ、ロの目標と実績

調査項目	平成23 年度特別	平成23 年度秋期	平成24 年度春期	平成24 年度秋期	平成25 年度春期	平成25 年度秋期	平成26 年度春期	平成26 年度秋期
試験問題の事前漏洩件数(実績)	0	0	0	0	0	0	0	0
答案用紙の回収漏れ件数(実績)	0	0	0	0	0	0	0	0
事業実施機関	独立行政法人 情報処理推進機構		日本通運株式会社				日本通運株式会社	

なお、事前漏洩を絶対防止するため、機構と落札事業者間で、原則、次のとおり処理を行っている。

- (a) 試験日2日前、機構が手配した問題冊子等輸送事業者の倉庫で、問題冊子等輸送事業者の立ち会いの下、落札事業者は、問題等の箱数を確認する。確認後は、問題冊子等輸送事業者が厳重に保管する。

(b) 落札事業者は、試験当日朝、問題冊子等輸送事業者が輸送してきた問題等を試験会場で受け取り、問題等の箱数を再確認するとともに、箱が未開梱であることを検品の上、問題冊子等輸送事業者が試験会場内の試験会場事務局に搬入する。

(c) 試験当日午前の試験開始時刻に間に合うよう、試験会場事務局内で、試験区分ごとに梱包された問題等を開梱し、試験室別に受験申請者数と同数の問題冊子、答案用紙をセットし、確認を行った後、試験監督員により試験室内に運び入れる。

## ②平成 26 年 1 月～平成 26 年 12 月に実施した試験における調査項目ハの結果

(a) 機構の試験会場の借り上げ実績を参考とした概ね交通の便が良く、清潔かつ静かな環境を備えた受験申請者数全数の収容を可能とする試験会場の確保。

試験会場に関する結果については、表 3 のとおり公共交通機関を利用してアクセスすることが可能な会場（バス便の少ない会場では、臨時バスの手配）を選定しており、機構が示した条件を満たしていることを確認した。

表 3 借用会場

### 東京試験地

(単位：人数)

試験会場	平成 23 年 度特別	平成 23 年 度秋期	平成 24 年 度春期	平成 24 年 度秋期	平成 25 年 度春期	平成 25 年 度秋期	平成 26 年 度春期	平成 26 年 度秋期
学習院大学	1,454							
日本大学経済学部	1,090		2,200		2,200		1,988	
専修大学	1,226							
東京理科大学 葛飾キャンパス						2,324	2,100	
大原簿記学校	576	375	664	717	380	661	400	570
東京大学 (法、文)		0	700	990	634	704	490	
東京大学 駒場キャンパス			2,724		2,524		2,327	
東京電機大学		2,000						
立志舎 BEST COLLEGES	660	554	554	554	519	511	546	548
立志舎 BEST COLLEGES B	200		339					
日本大学理工学部 (駿河台 1 号館)	3,602							
明治学院大学 白金キャンパス		2,380	800	2,218	1,623	2,138	1,450	1,715
東海大学 高輪キャンパス	906	900	900	800	799	914		
城北学園 (中・高校)	1,259	1,060	900	1,350	1,040	1,350	980	1,220
モード学園 コクーンタワー	1,960	900	1,206	1,316	1,316	1,324	1,088	1,394
早稲田大学本部 A	1,685		2,500		2,339		2,200	
早稲田大学本部 B	1,200		2,214		2,831		2,205	
関東第一高等学校	1,200	1,118		1,160		1,139		1,024
拓殖大学 文京キャンパス								1,951
國學院大学渋谷キャンパス	693		2,205		1,300		2,156	
東洋大学 (白山)	1,000							

立教大学 池袋キャンパスA		2,200	2,199	1,462	2,117	1,594	2,103	2,108
試験会場	平成 23年 度特別	平成 23年 度秋期	平成 24年 度春期	平成 24年 度秋期	平成 25年 度春期	平成 25年 度秋期	平成 26年 度春期	平成 26年 度秋期
東京電機大学 東京千住キャンパス				3,144	3,068	2,950	2,682	2,877
駒澤大学			2,444		1,100		2,100	
大東文化大学			800					
日本工学院専門学校	856	2,267	1,706	2,118	1,897	2,118	1,722	2,618
東京大学 (工学部)	350							
帝京大学板橋キャンパス							620	
青山学院大学渋谷キャンパス			1,502		1,886		2,350	2,514
東京都市大学 世田谷キャンパス	3,148	2,591	3,600	4,309	4,169	4,210	4,126	4,162
日本大学 商学部				1,354		2,116		1,752
成城大学		2,156	1,417					
昭和女子大学	500							
高千穂大学	1,370							
日本電子専門学校	490	545	622	551	570	551	556	556
慶應義塾大学 三田キャンパス	2,140			2,171	1,383		1,200	
国土館大学 世田谷キャンパス	3,000		1,354	3,093	3,100	3,086	2,200	2,420
テーオーシー五反田		1,044						
日本工業大学駒場高等学校	900	1,187						
芝浦工業大学中学高等学校	200	950	500	887	860	967		990
明治大学 和泉キャンパスB					2,400		2,400	
明治大学 和泉キャンパスA	3,772	3,997	3,897	4,900	3,200	4,700	3,150	4,400
立志舎BEST COLLEGE S杉並学園本部	252							
目白大学新宿キャンパス		1,600	1,600				1,484	
芝浦工業大学豊洲キャンパス			1,000		1,146			
自由ヶ丘学園高等学校		600		687		714		703
東京電子専門学校	776	800	1,060	1,213	1,206	1,213	1,000	522
上智大学 四谷キャンパス								1,929
大原情報ビジネス専門学校	640	240	360	359	330	365	567	567
フォーラム8	2,353	2,238						
東京都立産業貿易センター (台東館)		2,556	2,556	2,556	1,956	2,556		
立教大学 池袋キャンパスB	897	962	2,100		2,114		2,000	
東京医療保健大学五反田キャンパス	0			500				450
東京医療保健大学世田谷キャンパス	1,000	614		605		605		590
東京流通センター	3,764	2,264						
東京国際展示場 (会議棟)		1,300						

多摩大学目黒中学・高等学校	810	810		1,020		940		935
試験会場	平成 23年 度特別	平成 23年 度秋期	平成 24年 度春期	平成 24年 度秋期	平成 25年 度春期	平成 25年 度秋期	平成 26年 度春期	平成 26年 度秋期
TKP市ヶ谷カンファレンスセンター						2,583		2,376
明治大学 中野キャンパス								1,138
明治学院高等学校		760		762		741		741
東京栄養食糧専門学校	1,380	690						
後藤学園（武蔵野栄養専門学校）	1,615			980				
日本福祉教育専門学校	400	570		542		430		451
東京総合美容専門学校	1,116	678	678	678	678			
テーオーシー有明	1,000	1,000				1,000		1,000
東洋学園大学 本郷キャンパスA		940	940	550	550			
駿台学園高等学校	600							488
臨床福祉専門学校	600	700	700	700	700	660		524
中央工学校	800		1,400		590		590	
東京経済大学	450	1,100	1,650	2,603	2,300	2,450	2,200	2,450
電気通信大学A	1,994	1,250	1,500	1,761	2,170	2,250	2,100	2,238
成蹊大学			2,936			2,472		2,696
東京電機大学中学校・高等学校	1,030	1,073						
電気通信大学B	900	834		830				
専門学校東京テクニカルカレッジ		670						
明治学院東村山中学・高等学校	300	1,132		1,663		1,635		1,490
東京工学院専門学校	300	340	490	490				
一橋大学	2,367	1,089						
N T T 東日本研修センタ	0	1,099						
玉川大学	100			522				680
郁文館高等学校		1,300						
明星学園高等学校		523		762		739		742
嘉悦大学			750					
東京学芸大学	1,853		838	1,734	1,570		1,500	
東京外国語大学	1,575							
服部栄養専門学校		766						
帝京科学大学			1,108					
中央学院大学中央高等学校				496				
武蔵野大学 有明キャンパス				1,894		1,894		
中央大学駿河台記念館				837		829		
ベルサール汐留	1,400							
ベルサール西新宿	400	752						
ベルサール渋谷ファースト	1,296							
TKPガーデンシティ竹橋								1,500
TKP東京駅日本橋ビジネスセン	1,304	1,705						

ター								
試験会場	平成 23年 度特別	平成 23年 度秋期	平成 24年 度春期	平成 24年 度秋期	平成 25年 度春期	平成 25年 度秋期	平成 26年 度春期	平成 26年 度秋期
TKP大手町カンファレンスセンター	629							
TKP大手町ビジネスセンター								1,074
日本大学 法学部 A			335					
日本大学 法学部 B			1,578				1,250	1,246
大正大学 巣鴨キャンパス			1,421		1,420		1,400	
クロスウェーブ府中	550	400						
河合塾 池袋校舎	240							
中小企業大学校	380							
サンライズビルイベントホール	440							
大手町サンケイプラザ	570							
興和	300							
TKP東京駅八重洲カンファレンスセンター	1,542	1,600		1,305				
TKP渋谷カンファレンスセンター	550			610		802		848
TKPガーデンシティ品川	1,502							
ベルサール半蔵門	386							
ベルサール飯田橋ファースト	404							
ベルサール新宿	504							
泉ガーデンギャラリー	370							
TKP赤坂ツインタワーカンファレンスセンター		1,300		1,189		1,814		
日本赤十字看護大学 (広尾)		964						
TKP東京駅ビジネスセンター1号館				1,150				
機械産業記念事業財団テピア	9	11	19					
戸山サンライズ (全国身障者)	33	39	42	34	31	37		45
アクロスあらかわ	18	10	15	18	15	15	15	14
タイム24ビル (B)	11	16	17					
大田区産業プラザ				20	14		15	
東洋学園大学 本郷キャンパスB				19	22			29
機械振興会館						30		
早稲田大学 早稲田キャンパスC							44	
アルカディア市ヶ谷 (私学会館)	12							
小計	77,159	63,519	63,040	62,183	60,067	60,131	57,304	60,285

## 八王子試験地

(単位：人数)

試験会場	平成 23年 度特別	平成 23年 度秋期	平成 24年 度春期	平成 24年 度秋期	平成 25年 度春期	平成 25年 度秋期	平成 26年 度春期	平成 26年 度秋期
工学院大学（八王子校舎）			925					
日本工学院八王子専門学校	3,520	2,288	2,894	2,961	2,192	2,717	2,078	1,959
多摩永山情報教育センター	500	764						
多摩大学		949						
帝京大学			1,473					
中央大学多摩キャンパス				1,354	1,290	1,381	1,192	1,845
中央大学多摩キャンパスB				16	10	12		
恵泉女学園大学				1,237	1,180	1,180	1,158	1,180
多摩少年院	0	1	2	1		1		
八王子市東浅川保健福祉センター	10	12	12					
小計	4,030	4,014	5,306	5,569	4,672	5,291	4,428	4,984

東京試験地、八王子試験地合計	81,189	67,533	68,346	67,752	64,739	65,422	61,732	65,269
事業実施機関	独立行政法人情報処理推進機構		日本通運株式会社				日本通運株式会社	

(b) 試験の座席配置については、原則、1人用机は、隣の机と離して配置し、複数人数の長机では、隣席を空けて試験定員に応じて配置した。

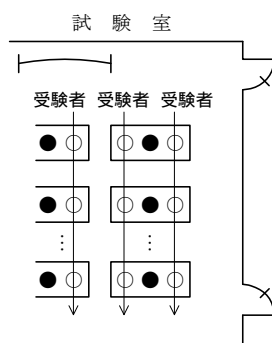


図 座席配置の例（『監督員マニュアル』から抜粋）

(c) 試験時間の過不足の防止について

平成 26 年度春期及び秋期の試験実施時、開始時刻が遅れた会場があったものの、それぞれ終了時刻を調整することで試験時間の過不足を生じないようにし、問題なく試験を実施することができた。

(d) 不正行為の防止及び不正行為に対する厳正な対処

該当する事実はなかった。

なお、不正行為を絶対防止するため、机の上に置くことが認められるもの<sup>\*</sup>以外は、全てカバンや封筒にしまわせた上で、当該カバン等を足元に置かせた。試験中は、監督員が定期的に試験室内を巡回するよう指導している。

※机上に置けるもの・・・受験票、黒鉛筆及びシャープペンシル、鉛筆削り、消しゴム、定規、時計（アラームなど時計以外の機能は使用不可）、ハンカチ、ポケットティッシュ、目薬

- (e) マニュアルを厳格に適用することによる正確かつ公平な出欠確認及び受験資格の確認確認できた。
- (f) 受験者に配付した答案用紙及び受験票（本人控えは除く。）の全数回収。全て回収できた。
- (g) 回収した答案用紙への加筆及び訂正の防止について該当する事実はなかった。
- (h) 未使用答案用紙の欠席者及び部外者への流出防止該当する事実はなかった。
- (i) 個人情報の盗難、亡失及び漏洩の絶対防止該当する事実はなかった。
- (j) 試験日当日におけるクレームやトラブルの内容と対処結果該当する事実はなかった。
- (k) 試験会場の周辺住民の生活環境への配慮及び試験会場周辺での交通トラブルの防止警備員を配置したため、問題も発生せずクレームもなかった。

③平成 26 年 1 月～平成 26 年 12 月に実施した試験における調査項目ニの結果

表 4 受験申請者数及び実施経費

	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
実施事業 機関	独立行政法人 情報処理推進機構		日本通運株式会社		日本通運 株式会社
受験申請 者数	160,711	148,722	136,098	130,161	127,001
実施経費	349,697 千円	347,430 千円	303,167 千円	301,000 千円	289,980 千円

- \* 平成 26 年度から 28 年度の報酬の支払いは、請負契約金額を 3 等分している。
- \* 平成 25 年度春期試験については、平成 22 年度春期試験と比較して受験申請者が 20% を超えて減少したため、実施要項 2. (5)④に基づき機構と落札事業者が協議した結果、20% を超えて減少した受験申請者数 1,178 人分（1 回当たりの請負契約金額の 1.43%相当額 2,167 千円）を請負契約金額から減額した。

(5) 評価

市場化テストにより、落札事業者に委託した旧関東支部東京地域（東京、八王子試験地）の試験実施事業に係る調査項目の達成結果については、上記のとおりであり、過去、機構で実施していた時と同様に試験問題の事前漏洩等が無かったこと、会場確保は問題なく確保できたこと等から試験

が滞りなく実施できたことは評価できる。

また、会場責任者をはじめ、副責任者、主任管理員や試験室のキーマンである主任監督員等（会場運営に必要な者の約85%（24年度80%））を事業者の社員で実施し、教育DVDの利用等、集合教育等の充実や実施態勢がより強化されたことにより、試験運営に関するサービスの質の確保につながった。



5. 東京周辺地域（埼玉、千葉、柏、横浜、藤沢、厚木試験地）

(1) 実施規模

表1 実施規模

	平成23 年度特別	平成23 年度秋期	平成24 年度春期	平成24 年度秋期	平成25 年度春期	平成25 年度秋期	平成26 年度春期	平成26 年度秋期
受験申請者数	58,697	53,554	55,968	55,110	51,909	52,112	47,790	50,145
会場数	90	67	44	50	40	45	42	44
事業実施機関	独立行政法人 情報処理推進機構		日本通運株式会社				日本通運株式会社	

※ 平成23年度特別試験の会場数は、6月実施分と7月実施分の延べ会場数である。  
平成23年度特別、23年度秋期の受験申請者数から、ITパスポート試験は除いている。

(2) 調査項目

- イ. 問題冊子の漏洩の数とその原因について
- ロ. 答案用紙の回収漏れの数とその原因について
- ハ. 試験日当日におけるクレームやトラブルの内容と対処方法について
- ニ. 実施経費

(3) 調査方法

機構は、民間事業者から受けた請負事業の実施状況の報告、民間事業者へのヒアリング、受験者からの問い合わせ結果、回収した答案枚数等を通じて把握した。

(4) 調査結果

①平成26年1月～平成26年12月に実施した試験における調査項目イ、ロの結果

表2 調査項目イ、ロの目標と実績

調査項目	平成23 年度特別	平成23 年度秋期	平成24 年度春期	平成24 年度秋期	平成25 年度春期	平成25 年度秋期	平成26 年度春期	平成26 年度秋期
試験問題の事前漏洩件数(実績)	0	0	0	0	0	0	0	0
答案用紙の回収漏れ件数(実績)	0	0	0	0	0	0	0	0
事業実施機関	独立行政法人 情報処理推進機構		日本通運株式会社				日本通運株式会社	

なお、事前漏洩を絶対防止するため、機構と落札事業者間で、原則、次のとおり処理を行っている。

- (a) 試験日2日前、機構が手配した問題冊子等輸送事業者の倉庫で、問題冊子等輸送事業者立ち会いの下、落札事業者は、問題等の箱数を確認する。確認後は、問題冊子等輸送事業者が厳重に保管する。
- (b) 落札事業者は、試験当日朝、問題冊子等輸送事業者が輸送してきた問題等を試験会場で受け取り、問題等の箱数を再確認するとともに、箱が未開梱であることを検品の上、問題冊子等輸送事

業者が試験会場内の試験会場事務局に搬入する。

- (c) 試験当日午前前の試験開始時刻に間に合うよう、試験会場事務局内で、試験区分ごとに梱包された問題等を開梱し、試験室別に受験申請者数と同数の問題冊子、答案用紙をセットし、確認を行った後、試験監督員により試験室内に運び入れる。

②平成 26 年 1 月～平成 26 年 12 月に実施した試験における調査項目ハの結果

- (a) 機構の試験会場の借り上げ実績を参考とした概ね交通の便が良く、清潔かつ静かな環境を備えた受験申請者数全数の収容を可能とする試験会場の確保。

試験会場に関する結果については、表 3 のとおり公共交通機関を利用してアクセスすることが可能な会場（バス便の少ない会場では、臨時バスの手配）を選定しており、機構が示した条件を満たしていることを確認した。

表 3 借用会場

埼玉試験地

(単位：人数)

試験会場	平成 23年 度特別	平成 23年 度秋期	平成 24年 度春期	平成 24年 度秋期	平成 25年 度春期	平成 25年 度秋期	平成 26年 度春期	平成 26年 度秋期
東京電機大学 鳩山校舎		450						
獨協大学	2,206	1,100	1,854	1,859	1,755	1,444	1,674	1,902
文教大学 越谷キャンパス				1,003		1,423		1,644
ものづくり大学	500	480						
東京理科大学 久喜キャンパス		250						
ジェイエイ共済埼玉ビル		800						
目白大学岩槻キャンパス		250						
平成国際大学	325	350						
国際学院高等学校		560						
国際学院埼玉短期大学	500			638				
小松原高等学校		382						
埼玉大学	3,082	1,144	1,729	1,339	1,300	1,802	1,278	
埼玉工業大学		302	510					
大原簿記情報ビジネス専門学校 大宮校	583		621	415	562	557	521	414
芝浦工業大学 大宮キャンパス	1,895	767	2,606	1,851	2,420	1,795	2,304	1,780
東京国際大学 第1キャンパス	1,615		2,002		1,866		1,735	
東京国際大学第2キャンパス		751		1,501		1,337		1,369
十文字学園女子大学		300						
埼玉コンピュータ&医療事務専門学校	500	150	340	342	342	340	367	346
大宮ソニックシティビル		900						
くすのきホール	600	600						
聖学院大学A	350	270		1,058	897	763	841	

日本工業大学 宮代キャンパス	697							
埼玉県立大学								1,187
城北埼玉中学・高等学校								592
国立職業リハビリテーションセンター	12	10	14	8	9	7	5	13
埼玉県総合リハビリテーションセンター	6	8	9	8				
聖学院大学B					8	9	5	
川越少年刑務所	10	12	10	11	11	9	13	11
小計	12,881	9,836	9,695	10,033	9,170	9,486	8,743	9,258

### 千葉試験地

(単位：人数)

試験会場	平成 23年 度特別	平成 23年 度秋期	平成 24年 度春期	平成 24年 度秋期	平成 25年 度春期	平成 25年 度秋期	平成 26年 度春期	平成 26年 度秋期
和洋女子大学	751	415						
神田外語大学		677						
千葉工業大学 津田沼キャンパス		1,609	1,624	1,933	1,618	1,835	1,601	1,770
千葉工業大学 新習志野キャンパス	2,806	2,441	2,582	2,335	2,214	2,833	1,930	2,180
千葉商科大学	2,227	1,231	1,800	1,432	1,710	984	1,350	1,376
敬愛大学 稲毛キャンパス	539	0	990	1,229	1,000	1,104	1,000	1,212
幕張メッセ (国際会議場)	498	1,380						
東京情報大学	1,581	633	1,190	1,034	967	870	920	966
千葉経済大学			847		796		800	
代々木ゼミナール津田沼校	592							
植草学園大学・短期大学	1,068	735		395	1,603			
日本大学薬学部				616				
東京電機大学 千葉ニュータウンキャンパス	2,035	830		500		670		635
千葉県青少年女性会館	2	8	14	12	13	12	10	12
ホテルグリーンタワー千葉	6							
小計	12,640	9,224	9,047	9,091	8,318	8,308	7,611	8,151

### 柏試験地

(単位：人数)

試験会場	平成 23年 度特別	平成 23年 度秋期	平成 24年 度春期	平成 24年 度秋期	平成 25年 度春期	平成 25年 度秋期	平成 26年 度春期	平成 26年 度秋期
東洋学園大学	264	540						
中央学院大学	1,841							
日本大学松戸歯学部	433	0						
日本橋学館大学		448		970				

東京理科大学 野田キャンパス		2,793	3,524	2,433	3,145	3,153	2,922	2,893
流通経済大学 新松戸キャンパス		936	996	1,063	882	1,012	859	1,202
東葛テクノプラザ	1	4						
小計	2,539	4,721	4,520	4,466	4,027	4,165	3,781	4,095

## 横浜試験地

(単位：人数)

試験会場	平成 23年 度特別	平成 23年 度秋期	平成 24年 度春期	平成 24年 度秋期	平成 25年 度春期	平成 25年 度秋期	平成 26年 度春期	平成 26年 度秋期
川崎市立川崎総合科学高等学校		276	705	766	760	720	760	718
明治大学 生田キャンパス	3,814	2,060	3,195	1,781	3,138	2,576	2,632	1,922
専修大学 生田キャンパス	797	1,431	2,434	1,163	2,490	872	1,867	1,104
神奈川大学	3,311		2,789		3,210		3,000	
横浜商科大学	1,000		1,341					
関東学院大学 金沢八景キャンパス			2,275		2,240		2,112	1,505
岩崎学園横浜デジタルアーツ専門学校	618	800	760	758				
岩崎学園 新横浜2号館		320						
相鉄岩崎学園ビル(横浜西口2号館)	876	750	741	718	753	680	699	670
パシフィコ横浜(展示ホールA、B)		3,793		3,820		3,600		3,750
パシフィコ横浜(展示ホールC、D)		3,820		3,820		3,840		3,750
神奈川県立横浜桜陽高等学校	714	252		634				
横浜市立横浜商業高等学校		500						
慶応義塾大学 日吉キャンパス	586							
國學院大学 たまプラーザキャンパス	0	1,112	1,490	1,776	1,648	688	1,438	1,361
東京都市大学 横浜キャンパス	1,100	1,076	1,114	1,015	995	793	970	
大原法律公務員専門学校 横浜校	396	360	420	419	420	420	420	420
代々木ゼミナール横浜校		470	470					
東洋英和女学院大学		1,370	1,800	2,083	2,060	1,608	1,623	1,093
東芝研修センターB	898	1,000	1,000	1,008	1,008	895	870	786
青山学院大学 相模原キャンパス	5,277	2,751	3,840	1,278	3,315	3,218	3,804	2,065
明治学院大学 横浜キャンパス		1,600	1,798	2,036	2,062	1,567	1,908	1,117
橘学苑中学校・高等学校	689							
相模女子大学	1,520	401						
桜美林大学	620							
麻布大学				1,308		1,696		1,792
和泉短期大学	800							
湘南短期大学(神奈川歯科大学)	980							
外語ビジネス専門学校	542	0						
総合電子専門学校	718							
アーツカレッジヨコハマ	432							

AOTS横浜研修センター	432							
パシフィコ横浜（アネックスホール）		620		620		640		640
パシフィコ横浜（国際会議場）		384						
川崎市南部身体障害者福祉会館	7	7	9	6	10	11	11	12
東芝研修センターA	33	28	29	30	24	24	20	22
小計	26,160	25,181	26,210	25,039	24,133	23,848	22,134	22,727

### 藤沢試験地

(単位：人数)

試験会場	平成 23年 度特別	平成 23年 度秋期	平成 24年 度春期	平成 24年 度秋期	平成 25年 度春期	平成 25年 度秋期	平成 26年 度春期	平成 26年 度秋期
湘南工科大学	1,431	1,109	1,971	1,650	1,926	2,279	996	1,132
神奈川大学 湘南ひらつかキャンパス	672						600	
藤沢翔陵高等学校				561				
秀英予備校 藤沢校	661	250	587			522	511	702
日本大学生物資源科学部		1,015	1,295	1,504	1,779	923	1,249	1,706
藤沢産業センター		13		7	4	5		
茅ヶ崎市福祉会館							4	5
小計	2,764	2,387	3,853	3,722	3,709	3,729	3,360	3,545

### 厚木試験地

(単位：人数)

試験会場	平成 23年 度特別	平成 23年 度秋期	平成 24年 度春期	平成 24年 度秋期	平成 25年 度春期	平成 25年 度秋期	平成 26年 度春期	平成 26年 度秋期
神奈川工科大学	440	680	1,213	1,648	1,924	1,534	1,688	1,380
産業能率大学		452	764					
厚木中央高等学校・専門学校神奈川総合大学校	415	470		605				
松蔭大学				500		560		540
東海大学 湘南キャンパス	550							
秀英予備校（厚木校）	300	597	657		621	475	464	446
伊勢原シティプラザ（商工会館）	8	6	9	6	7	7	9	3
小計	1,713	2,205	2,643	2,759	2,552	2,576	2,161	2,369

合計	58,697	53,554	55,968	55,110	51,909	52,112	47,790	50,145
事業実施機関	独立行政法人情報処理推進機構		日本通運株式会社			日本通運株式会社		

(b) 試験の座席配置については、原則、1人用机は、隣の机と離して配置し、複数人数の長机では、隣席を空けて試験定員に応じて配置した。

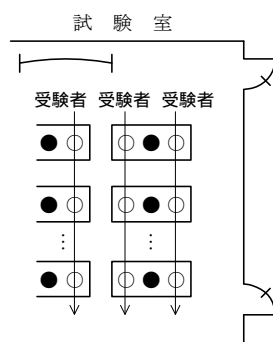


図 座席配置の例（『監督員マニュアル』から抜粋）

(c) 試験時間の過不足の防止について

平成 26 年度春期及び秋期の試験実施時、開始時刻が遅れた会場があったものの、それぞれ終了時刻を調整することで試験時間の過不足を生じないようにし、問題なく試験を実施することができた。

(d) 不正行為の防止及び不正行為に対する厳正な対処

該当する事実はなかった。

なお、不正行為を絶対防止するため、机の上に置くことが認められるもの<sup>\*</sup>以外は、全てカバンや封筒にしまわせた上で、当該カバン等を足元に置かせた。試験中は、監督員が定期的に試験室内を巡回するよう指導している。

※机の上に置けるもの・・・受験票、黒鉛筆及びシャープペンシル、鉛筆削り、消しゴム、定規、時計（アラームなど時計以外の機能は使用不可）、ハンカチ、ポケットティッシュ、目薬

(e) マニュアルを厳格に適用することによる正確かつ公平な出欠確認及び受験資格の確認確認できた。

(f) 受験者に配付した答案用紙及び受験票（本人控えは除く。）の全数回収。全て回収できた。

(g) 回収した答案用紙への加筆及び訂正の防止について該当する事実はなかった。

(h) 未使用答案用紙の欠席者及び部外者への流出防止該当する事実はなかった。

(i) 個人情報の盗難、亡失及び漏洩の絶対防止該当する事実はなかった。

(j) 試験日当日におけるクレームやトラブルの内容と対処結果該当する事実はなかった。

(k) 試験会場の周辺住民の生活環境への配慮及び試験会場周辺での交通トラブルの防止警備員を配置したため、問題も発生せずクレームもなかった。

③平成 26 年 1 月～平成 26 年 12 月に実施した試験における調査項目ニの結果

表 4 受験申請者数及び実施経費

	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
実施事業 機関	独立行政法人 情報処理推進機構		日本通運株式会社		日本通運 株式会社
受験申請 者数	126,262	112,251	111,078	104,021	97,935
実施経費	274,737 千円	262,229 千円	214,997 千円	213,555 千円	216,050 千円

- \* 平成 26 年度から 28 年度の報酬の支払いは、請負契約金額を 3 等分している。
- \* 平成 25 年度秋期試験については、平成 22 年度秋期試験と比較して受験申請者が 20% を超えて減少したため、実施要項 2. (5)④に基づき機構と落札事業者が協議した結果、20% を超えて減少した受験申請者数 889 人分(1 回当たりの請負契約金額の 1.34%相当額 1,442 千円)を請負契約金額から減額した。
- \* 平成 26 年度春期試験については、平成 24 年度春期試験と比較して受験申請者が 10% を超えて減少したため、実施要項 2. (3)③に基づき機構と落札事業者が協議した結果、10%を超えて減少した受験申請者数 2,581 人分(1 回当たりの請負契約金額の 4.6%相当額 5,086 千円)を請負契約金額から減額した。

(5) 評価

市場化テストにより、落札事業者に委託した旧関東支部東京周辺地域（埼玉、千葉、柏、横浜、藤沢、厚木試験地）の試験実施事業に係る調査項目の達成結果については、上記のとおりであり、過去、機構で実施していた時と同様に試験問題の事前漏洩等が無かったこと、会場確保は問題なく確保できたこと等から試験が滞りなく実施できたことは評価できる。

また、会場責任者をはじめ、副責任者、主任管理員や試験室のキーマンである主任監督員等（会場運営に必要な者の約 95%（24 年度 90%））を事業者の社員で実施し、教育 DVD の利用等、集合教育等の充実や実施態勢がより強化されたことにより、試験運営に関するサービスの質の確保につながった。

6. 名古屋地域（名古屋試験地）

(1) 実施規模

表1 実施規模

	平成23 年度特別	平成23 年度秋期	平成24 年度春期	平成24 年度秋期	平成25 年度春期	平成25 年度秋期	平成26 年度春期	平成26 年度秋期
受験申請 者数	11,881	10,436	10,439	10,430	9,658	10,253	9,241	9,799
会場数	18	18	12	13	13	16	12	11
事業実施 機関	独立行政法人 情報処理推進機構		株式会社全国試験運営センター				日本通運株式会社	

※ 平成23年度特別試験の会場数は、6月実施分と7月実施分の延べ会場数である。  
平成21年度春期～23年度秋期の受験申請者数から、ITパスポート試験は除いている。

(2) 調査項目

- イ. 問題冊子の漏洩の数とその原因について
  - ロ. 答案用紙の回収漏れの数とその原因について
  - ハ. 試験日当日におけるクレームやトラブルの内容と対処方法について
- ニ. 実施経費

(3) 調査方法

機構は、民間事業者から受けた請負事業の実施状況の報告、民間事業者へのヒアリング、受験者からの問い合わせ結果、回収した答案枚数等を通じて把握した。

(4) 調査結果

①平成26年1月～平成26年12月に実施した試験における調査項目イ、ロの結果

表2 調査項目イ、ロの目標と実績

調査項目	平成23 年度特別	平成23 年度秋期	平成24 年度春期	平成24 年度秋期	平成25 年度春期	平成25 年度秋期	平成26 年度春期	平成26 年度秋期
試験問題の事前 漏洩件数(実績)	0	0	0	0	0	0	0	0
答案用紙の回収 漏れ件数(実績)	0	0	0	0	0	0	0	0
事業実施機関	独立行政法人 情報処理推進機構		株式会社全国試験運営センター				日本通運株式会社	

なお、事前漏洩を絶対防止するため、機構と落札事業者間で、原則、次のとおり処理を行っている。

- (a) 試験日2日前、機構が手配した問題冊子等輸送事業者の倉庫で、問題冊子等輸送事業者立ち会いの下、落札事業者は、問題等の箱数を確認する。確認後は、問題冊子等輸送事業者が厳重に保管する。
- (b) 落札事業者は、試験当日朝、問題冊子等輸送事業者が輸送してきた問題等を試験会場で受け取り、問題等の箱数を再確認するとともに、箱が未開梱であることを検品の上、問題冊子等輸送事



業者が試験会場内の試験会場事務局に搬入する。

- (c) 試験当日午前の試験開始時刻に間に合うよう、試験会場事務局内で、試験区分ごとに梱包された問題等を開梱し、試験室別に受験申請者数と同数の問題冊子、答案用紙をセットし、確認を行った後、試験監督員により試験室内に運び入れる。

②平成 26 年 1 月～平成 26 年 12 月に実施した試験における調査項目ハの結果

- (a) 機構の試験会場の借り上げ実績を参考とした概ね交通の便が良く、清潔かつ静かな環境を備えた受験申請者数全数の収容を可能とする試験会場の確保。

試験会場に関する結果については、事業者間の引継ぎも問題なく、表 3 のとおり公共交通機関を利用してアクセスすることが可能な会場（バス便の少ない会場では、臨時バスの手配）を選定しており、機構が示した条件を満たしていることを確認した。

表 3 借用会場

名古屋試験地

(単位：人数)

試験会場	平成 23年 度特別	平成 23年 度秋期	平成 24年 度春期	平成 24年 度秋期	平成 25年 度春期	平成 25年 度秋期	平成 26年 度春期	平成 26年 度秋期
名古屋工業大学A	695	920	1,214	800	1,013	920	1,022	
名古屋工業大学B	1,004	382	933	737		676	820	
名城大学（4号館）	400							
名城大学（共通講義棟南）				1,183				
東海工業専門学校（金山校）		275						
名古屋工学院専門学校（3号館）				800	660	700	755	840
名古屋工学院専門学校（1号館）	560	550	500	500	408	440	590	600
名古屋工学院専門学校（10号館）		415	475	15		16		18
名古屋情報メディア専門学校		500	500	450	368	415	470	490
HAL名古屋	1,905	1,050	900	750	770	664	857	992
南山大学	1,878	1,181	970		935		890	1,630
E L I C ビジネス&公務員専門学校		345						
愛知産業大学工業高等学校	1,097	494						
大同大学（滝春校舎）	1,787	316	919	1,339	1,291	1,220	1,220	600
同朋大学		488			520	500	495	580
名古屋大学（全学教育棟）		1,632	1,345	1,327	1,319	1,214		1,878
愛知学院大学（日進キャンパス1号館）				1,108				
愛知学院大学（日進キャンパス）		300				1,697		
中京大学（名古屋キャンパス）		775	1,768	420	1,658		1,517	1,716
愛知大学（車道校舎）	727							
愛知大学（名古屋校舎）	1,820	569						

愛知大学（名古屋校舎）内特別会場	8	16						
ウインクあいち（愛知県産業労働センター）		228	900	1,001		523	590	
IMY ホール					311	257		
TKP 名古屋ビジネスセンター					390			
中京大学（法学部校舎）						330	455	
TKP 名古屋駅前カンファレンスセンター						280		
TKP 名古屋栄カンファレンスセンター						401		
日本福祉大学中央福祉専門学校			15		15		15	
合計	11,881	10,436	10,439	10,430	9,658	10,253	9,241	9,799
事業実施機関	独立行政法人情報処理推進機構		株式会社全国試験運営センター				日本通運株式会社	

- (b) 試験の座席配置については、原則、1人用机は、隣の机と離して配置し、複数人数の長机では、隣席を空けて試験定員に応じて配置した。

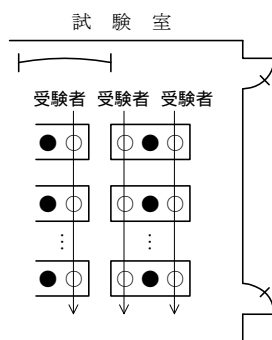


図 座席配置の例（『監督員マニュアル』から抜粋）

- (c) 試験時間の過不足の防止について

平成 26 年度春期及び秋期の試験実施時、開始時刻が遅れた会場があったものの、それぞれ終了時刻を調整することで試験時間の過不足を生じないようにし、問題なく試験を実施することができた。

- (d) 不正行為の防止及び不正行為に対する厳正な対処

該当する事実はなかった。

なお、不正行為を絶対防止するため、机の上に置くことが認められるもの※以外は、全てカバンや封筒にしまわせた上で、当該カバン等を足元に置かせた。試験中は、監督員が定期的に試験室内を巡回するよう指導している。

※机の上に置けるもの・・・受験票、黒鉛筆及びシャープペンシル、鉛筆削り、消しゴム、定規、時計（アラームなど時計以外の機能は使用不可）、ハンカチ、ポケットティッシュ、目薬

- (e) マニュアルを厳格に適用することによる正確かつ公平な出欠確認及び受験資格の確認確認できた。
- (f) 受験者に配付した答案用紙及び受験票（本人控えは除く。）の全数回収。全て回収できた。
- (g) 回収した答案用紙への加筆及び訂正の防止について該当する事実はなかった。
- (h) 未使用答案用紙の欠席者及び部外者への流出防止該当する事実はなかった。
- (i) 個人情報の盗難、亡失及び漏洩の絶対防止該当する事実はなかった。
- (j) 試験日当日におけるクレームやトラブルの内容と対処結果該当する事実はなかった。
- (k) 試験会場の周辺住民の生活環境への配慮及び試験会場周辺での交通トラブルの防止警備員を配置したため、問題も発生せずクレームもなかった。

③平成 26 年 1 月～平成 26 年 12 月に実施した試験における調査項目ニの結果

表 4 受験申請者数及び実施経費

	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
実施事業 機関	独立行政法人 情報処理推進機構		株式会社全国試験運営センター		日本通運 株式会社
受験申請 者数	24,500	22,317	20,869	19,911	19,040
実施経費	49,243 千円	45,601 千円	50,820 千円	50,744 千円	34,658 千円

- \* 平成 26 年度から 28 年度の報酬の支払いは、請負契約金額を 3 等分している。
- \* 平成 25 年度春期試験については、平成 22 年度春期試験と比較して受験申請者が 20% を超えて減少したため、実施要項 2. (5)④に基づき機構と落札事業者が協議した結果、20% を超えて減少した受験申請者数 35 人分(1 回当たりの請負契約金額の 0.3%相当額 76 千円) を請負契約金額から減額した。
- \* 平成 26 年度春期試験については、平成 24 年度春期試験と比較して受験申請者が 10% を超えて減少したため、実施要項 2. (3)③に基づき機構と落札事業者が協議した結果、10% を超えて減少した受験申請者数 154 人分(1 回当たりの請負契約金額の 1.5%相当額 262 千円) を請負契約金額から減額した。

(5) 評価

市場化テストにより、落札事業者に委託した旧中部支部（名古屋試験地）の試験実施事業に係る調査項目の達成結果については、上記のとおりであり、過去、機構で実施していた時と同様に試験問題の事前漏洩等が無かったこと、会場確保は問題なく確保できたこと等から試験が滞りなく実施

できたことは評価できる。

また、会場責任者をはじめ、副責任者、主任管理員や試験室のキーマンである主任監督員等（会場運営に必要な者の約 89%）を事業者の社員で実施し、教育DVDの利用等、集合教育等の充実や実施態勢がより強化されたことにより、試験運営に関するサービスの質の確保につながった。

7. 近畿地域（大阪、滋賀、京都、奈良、神戸、和歌山試験地）

(1) 実施規模

表1 実施規模

	平成23 年度特別	平成23 年度秋期	平成24 年度春期	平成24 年度秋期	平成25 年度春期	平成25 年度秋期	平成26 年度春期	平成26 年度秋期
受験申請者数	28,251	25,674	25,550	26,348	23,573	24,527	22,403	23,749
会場数	49	37	30	41	30	37	27	29
事業実施機関	独立行政法人 情報処理推進機構		日本通運株式会社				日本通運株式会社	

※ 平成23年度特別試験の会場数は、6月実施分と7月実施分の延べ会場数である。  
平成23年度特別、23年度秋期の受験申請者数から、ITパスポート試験は除いている。

(2) 調査項目

- イ. 問題冊子の漏洩の数とその原因について
- ロ. 答案用紙の回収漏れの数とその原因について
- ハ. 試験日当日におけるクレームやトラブルの内容と対処方法について
- ニ. 実施経費

(3) 調査方法

機構は、民間事業者から受けた請負事業の実施状況の報告、民間事業者へのヒアリング、受験者からの問い合わせ結果、回収した答案枚数等を通じて把握した。

(4) 調査結果

①平成26年1月～平成26年12月に実施した試験における調査項目イ、ロの結果

表2 調査項目イ、ロの目標と実績

調査項目	平成23 年度特別	平成23 年度秋期	平成24 年度春期	平成24 年度秋期	平成25 年度春期	平成25 年度秋期	平成26 年度春期	平成26 年度秋期
試験問題の事前漏洩件数(実績)	0	0	0	0	0	0	0	0
答案用紙の回収漏れ件数(実績)	0	0	0	0	0	0	0	0
事業実施機関	独立行政法人 情報処理推進機構		日本通運株式会社				日本通運株式会社	

なお、事前漏洩を絶対防止するため、機構と落札事業者間で、原則、次のとおり処理を行っている。

- (a) 試験日2日前、機構が手配した問題冊子等輸送事業者の倉庫で、問題冊子等輸送事業者立ち会いの下、落札事業者は、問題等の箱数を確認する。確認後は、問題冊子等輸送事業者が厳重に保管する。
- (b) 落札事業者は、試験当日朝、問題冊子等輸送事業者が輸送してきた問題等を試験会場で受け取

り、問題等の箱数を再確認するとともに、箱が未開梱であることを検品の上、問題冊子等輸送事業者が試験会場内の試験会場事務局に搬入する。

(c) 試験当日午前中の試験開始時刻に間に合うよう、試験会場事務局内で、試験区分ごとに梱包された問題等を開梱し、試験室別に受験申請者数と同数の問題冊子、答案用紙をセットし、確認を行った後、試験監督員により試験室内に運び入れる。

②平成 26 年 1 月～平成 26 年 12 月に実施した試験における調査項目ハの結果

(a) 機構の試験会場の借り上げ実績を参考とした概ね交通の便が良く、清潔かつ静かな環境を備えた受験申請者数全数の収容を可能とする試験会場の確保。

試験会場に関する結果については、表 3 のとおり公共交通機関を利用してアクセスすることが可能な会場（バス便の少ない会場では、臨時バスの手配）を選定しており、機構が示した条件を満たしていることを確認した。

表 3 借用会場

大阪試験地

(単位：人数)

試験会場	平成 23年 度特別	平成 23年 度秋期	平成 24年 度春期	平成 24年 度秋期	平成 25年 度春期	平成 25年 度秋期	平成 26年 度春期	平成 26年 度秋期
大阪国際大学（枚方キャンパス）	240	580		571	571	571	571	576
関西大学（千里山第1学舎）			2,222					
関西大学（千里山第2学舎）		890						
関西大学（千里山第2学舎3号館）		940						
関西大学（千里山第4学舎）	3,730							
関西大学（天六学舎）		1,402	838					
大阪学院大学			911		1,911		1,923	
大阪経済大学（東校地）	580	560	1,501	1,624	1,512	593	618	2,422
大阪経済大学（西校地）						800	800	
近畿大学	1,110		2,208				1,326	
大阪産業大学（東部キャンパス）		720		970		970		1,116
大阪産業大学（中央キャンパス）	1,620		861	460	867	515	967	756
羽衣国際大学		505	500	500	500			
HAL大阪	1,304	1,000	900	900	900	900	949	970
マイドームおおさか		2,038			1,850		1,598	916
阪南大学（本キャンパス）	1,181	823	800					
摂南大学	540							
桃山学院大学	2,436	1,189		490	960	400	836	1,067
天満研修センター	830	1,370		960	770	780	942	
新梅田研修センター						765		
太成学院大学高等学校	500	500						
大阪大学豊中キャンパス			1,049					
大阪青山大学		755	700	700	700	700		

大阪商工会議所		733						
大阪アカデミア	785	1,130		448	794			
大阪電気通信大学（寝屋川キャンパス）	1,960		1,615		1,654		1,784	
大阪府立大学（中百舌鳥キャンパス）			1,083		1,064		900	
大阪樟蔭女子大学（小阪キャンパス）				1,424				
A T C オズ棟南館				562				
T K P 大阪御堂筋カンファレンスセンター				366		530		
T K P 大阪心齋橋カンファレンスセンター				606				
大原簿記法律専門学校難波校				529		529		540
大原簿記専門学校大阪校1号館				500		500		
E C C コンピュータ専門学校				764		764		705
日本理工情報専門学校				448		384		
大阪府立大学（羽曳野キャンパス）				400				
代々木ゼミナール大阪南校				400		400		415
新大阪丸ビル別館				730		600		536
新大阪丸ビル本館				178				
新大阪丸ビル新館						323		442
東海大学付属仰星高等学校				1,143				
千里ライフサイエンスセンター						495		
大阪市立大学杉本キャンパス全学共通教育棟						2,435		2,421
大阪科学技術センター						620		648
大阪商業大学								474
大阪市職業リハビリテーションセンター	20	25	23	44	21	32	18	31
小計	16,836	15,160	15,211	15,717	14,074	14,606	13,232	14,035

### 滋賀試験地

(単位：人数)

試験会場	平成 23年 度特別	平成 23年 度秋期	平成 24年 度春期	平成 24年 度秋期	平成 25年 度春期	平成 25年 度秋期	平成 26年 度春期	平成 26年 度秋期
立命館大学びわこ・くさつキャンパス		590	491	470	450	550	516	666
龍谷大学 瀬田キャンパス	1,274	610	607	706				
滋賀大学（大津キャンパス）					558	558	454	398
小計	1,274	1,200	1,098	1,176	1,008	1,108	970	1,064

### 京都試験地

(単位：人数)

試験会場	平成 23年 度特別	平成 23年 度秋期	平成 24年 度春期	平成 24年 度秋期	平成 25年 度春期	平成 25年 度秋期	平成 26年 度春期	平成 26年 度秋期
京都産業大学	614	572		880		847		912
同志社大学（京田辺キャンパス）	940							
京都女子大学（J校舎）	330	378	569	550	569	550	545	601
京都大学（吉田南構内）			921		877		840	
龍谷大学 深草キャンパス	848	631		1,217	936	1,202	967	1,110
龍谷大学 深草キャンパス（21号館）		940	1,018					
京都府立総合社会福祉会館	3	4	2	5	3			
小計	2,735	2,525	2,510	2,652	2,385	2,599	2,352	2,623

### 奈良試験地

（単位：人数）

試験会場	平成 23年 度特別	平成 23年 度秋期	平成 24年 度春期	平成 24年 度秋期	平成 25年 度春期	平成 25年 度秋期	平成 26年 度春期	平成 26年 度秋期
帝塚山大学		875	796	802	689	739	676	1,168
帝塚山大学学園前キャンパス		522	571		534	483	506	
奈良産業大学	1,337			576				
奈良大学	280							
若草技能訓練所	10	11	9	7	9	14	16	14
小計	1,627	1,408	1,376	1,385	1,232	1,236	1,198	1,182

### 神戸試験地

（単位：人数）

試験会場	平成 23年 度特別	平成 23年 度秋期	平成 24年 度春期	平成 24年 度秋期	平成 25年 度春期	平成 25年 度秋期	平成 26年 度春期	平成 26年 度秋期
大手前大学いたみ稲野キャンパス	504	490	615	511	620	507	537	690
大手前大学さくら夙川キャンパス	904		575	693	524		443	
神戸市立神港高等学校		350						
神戸村野工業高等学校	455	420		617				
関西学院大学	1,672	547	1,215		1,028	1,580	1,974	1,454
関西学院大学（第五別館）	864	927						
コンピュータ総合学園神戸電子専門学校		1,100	923	840	820	835	823	1,086
神戸学院大学	500	409	527	1,094	527	726		791
神戸市外国語大学	392	664	1,117	408	981	408	517	402
聖トマス大学				800		515		
神戸市立こうべ市民福祉交流センター	3	9						
小計	5,294	4,916	4,972	4,963	4,500	4,571	4,294	4,423



## 和歌山試験地

(単位：人数)

試験会場	平成 23年 度特別	平成 23年 度秋期	平成 24年 度春期	平成 24年 度秋期	平成 25年 度春期	平成 25年 度秋期	平成 26年 度春期	平成 26年 度秋期
近畿大学生物理工学部		465	383	455	374	407	357	422
大原簿記 和歌山	365							
和歌山YMC A	120							
小計	485	465	383	455	374	407	357	422

合計	28,251	25,674	25,550	26,348	23,573	24,527	22,403	23,749
事業実施機関	独立行政法人情報処理推進機構		日本通運株式会社				日本通運株式会社	

- (b) 試験の座席配置については、原則、1人用机は、隣の机と離して配置し、複数人数の長机では、隣席を空けて試験定員に応じて配置した。

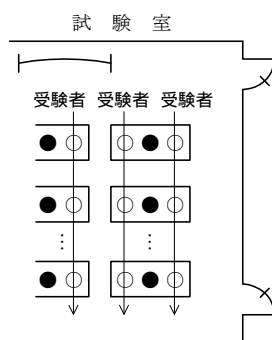


図 座席配置の例 (『監督員マニュアル』から抜粋)

- (c) 試験時間の過不足の防止について

平成 26 年度春期及び秋期の試験実施時、開始時刻が遅れた会場があったものの、それぞれ終了時刻を調整することで試験時間の過不足を生じないようにし、問題なく試験を実施することができた。

- (d) 不正行為の防止及び不正行為に対する厳正な対処

該当する事実はなかった。

なお、不正行為を絶対防止するため、机上に置くことが認められるもの<sup>\*</sup>以外は、全てカバンや封筒にしまわせた上で、当該カバン等を足元に置かせた。試験中は、監督員が定期的に試験室内を巡回するよう指導している。

※机上に置けるもの・・・受験票、黒鉛筆及びシャープペンシル、鉛筆削り、消しゴム、定規、時計(アラームなど時計以外の機能は使用不可)、ハンカチ、ポケットティッシュ、目薬

- (e) マニュアルを厳格に適用することによる正確かつ公平な出欠確認及び受験資格の確認確認できた。

- (f) 受験者に配付した答案用紙及び受験票（本人控えは除く。）の全数回収。  
全て回収できた。
- (g) 回収した答案用紙への加筆及び訂正の防止について  
該当する事実はなかった。
- (h) 未使用答案用紙の欠席者及び部外者への流出防止  
該当する事実はなかった。
- (i) 個人情報の盗難、亡失及び漏洩の絶対防止  
該当する事実はなかった。
- (j) 試験日当日におけるクレームやトラブルの内容と対処結果  
該当する事実はなかった。
- (k) 試験会場の周辺住民の生活環境への配慮及び試験会場周辺での交通トラブルの防止  
警備員を配置したため、問題も発生せずクレームもなかった。

③平成 26 年 1 月～平成 26 年 12 月に実施した試験における調査項目ニの結果

表 4 受験申請者数及び実施経費

	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
実施事業 機関	独立行政法人 情報処理推進機構		日本通運株式会社		日本通運 株式会社
受験申請 者数	59,397	53,925	51,898	48,100	46,152
実施経費	99,727 千円	101,340 千円	107,100 千円	107,100 千円	100,353 千円

\* 平成 26 年度から 28 年度の報酬の支払いは、請負契約金額を 3 等分している。

\* 平成 26 年度春期試験については、平成 24 年度春期試験と比較して受験申請者が 10% を超えて減少したため、実施要項 2. (3)③に基づき機構と落札事業者が協議した結果、10%を超えて減少した受験申請者数 592 人分（1 回当たりの請負契約金額の 2.3%相当額 1,167 千円）を請負契約金額から減額した。

(5) 評価

市場化テストにより、落札事業者に委託した旧近畿支部（大阪、滋賀、京都、奈良、神戸、和歌山試験地）の試験実施事業に係る調査項目の達成結果については、上記のとおりであり、過去、機構で実施していた時と同様に試験問題の事前漏洩等が無かったこと、会場確保は問題なく確保できたこと等から試験が滞りなく実施できたことは評価できる。

また、会場責任者をはじめ、副責任者、主任管理員や試験室のキーマンである主任監督員等（会場運営に必要な者の約 98%（24 年度 96%））を事業者の社員で実施し、教育 DVD の利用等、集合教育等の充実や実施態勢がより強化されたことにより、試験運営に関するサービスの質の確保につながった。

## 8. 札幌試験地

### (1) 実施規模

表1 実施規模

	平成23 年度特別	平成23 年度秋期	平成24 年度春期	平成24 年度秋期	平成25 年度春期	平成25 年度秋期	平成26 年度春期	平成26 年度秋期
受験申請者数	4,274	4,335	3,797	4,218	3,411	4,045	3,272	3,880
会場数	8	3	2	5	3	4	2	4
事業実施機関	ランスタッド株式会社						日本通運株式会社	

※ 平成23年度特別試験の会場数は、6月実施分と7月実施分の延べ会場数である。  
平成23年度特別、23年度秋期の受験申請者数から、ITパスポート試験は除いている。

### (2) 調査項目

- イ. 問題冊子の漏洩の数とその原因について
- ロ. 答案用紙の回収漏れの数とその原因について
- ハ. 試験日当日におけるクレームやトラブルの内容と対処方法について
- ニ. 実施経費

### (3) 調査方法

機構は、民間事業者から受けた請負事業の実施状況の報告、民間事業者へのヒアリング、受験者からの問い合わせ結果、回収した答案枚数等を通じて把握した。

### (4) 調査結果

①平成26年1月～平成26年12月に実施した試験における調査項目イ、ロの結果

表2 調査項目イ、ロの目標と実績

調査項目	平成23 年度特 別	平成23 年度秋 期	平成24 年度春 期	平成24 年度秋 期	平成25 年度春 期	平成25 年度秋 期	平成26 年度春 期	平成26 年度秋 期
試験問題の事前漏洩件数(実績)	0	0	0	0	0	0	0	0
答案用紙の回収漏れ件数(実績)	0	0	0	0	0	0	0	0
事業実施機関	ランスタッド株式会社						日本通運株式会社	

なお、事前漏洩を絶対防止するため、機構と落札事業者間で、原則、次のとおり処理を行っている。

- (a) 試験日2日前、機構が手配した問題冊子等輸送事業者の倉庫で、問題冊子等輸送事業者立ち会いの下、落札事業者は、問題等の箱数を確認する。確認後は、問題冊子等輸送事業者が厳重に保管する。
- (b) 落札事業者は、試験当日朝、問題冊子等輸送事業者が輸送してきた問題等を試験会場で受け取

り、問題等の箱数を再確認するとともに、箱が未開梱であることを検品の上、問題冊子等輸送事業者が試験会場内の試験会場事務局に搬入する。

(c) 試験当日午前中の試験開始時刻に間に合うよう、試験会場事務局内で、試験区分ごとに梱包された問題等を開梱し、試験室別に受験申請者数と同数の問題冊子、答案用紙をセットし、確認を行った後、試験監督員により試験室内に運び入れる。

②平成 26 年 1 月～平成 26 年 12 月に実施した試験における調査項目ハの結果

(a) 機構の試験会場の借り上げ実績を参考とした概ね交通の便が良く、清潔かつ静かな環境を備えた受験申請者数全数の収容を可能とする試験会場の確保。

試験会場に関する結果については、事業者間の引継ぎも問題なく、表 3 のとおり公共交通機関を利用してアクセスすることが可能な会場を選定しており、機構が示した条件を満たしていることを確認した。

表 3 借用会場

(単位：人数)

試験会場	平成 23 年度特 別	平成 23 年度秋 期	平成 24 年度春 期	平成 24 年度秋 期	平成 25 年度春 期	平成 25 年度秋 期	平成 26 年度春 期	平成 26 年 度秋期
北海道工業大学	81							
北海道情報専門学校	1,840			1,054	775	1,124	514	904
札幌大学				1,241		1,157		1,171
大原簿記情報専門学校札幌校	704							
北海道大学高等教育推進機構	1,200	3,386	3,730	1,028	2,627	1,101	2,758	1,140
北海道大学 農学部		864						
北海道大学 理学部		85	67	459	9	663		665
札幌医療福祉デジタル専門学校	439							
代々木ゼミナール 札幌校				436				
メディアミックス札幌	10							
合計	4,274	4,335	3,797	4,218	3,411	4,045	3,272	3,880
事業実施機関	ランスタッド株式会社						日本通運株式会社	

(b) 試験の座席配置については、原則、1 人用机は、隣の机と離して配置し、複数人数の長机では、隣席を空けて試験定員に応じて配置した。

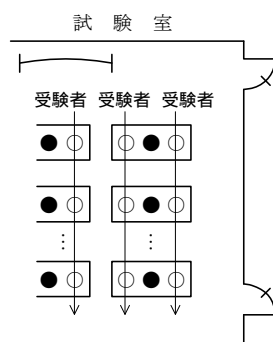


図 座席配置の例（『監督員マニュアル』から抜粋）

- (c) 試験時間の過不足の防止について  
平成 26 年度春期の試験実施時、開始時刻が遅れた会場があったものの、終了時刻を調整することで試験時間の過不足を生じないようにし、問題なく試験を実施することができた。
- (d) 不正行為の防止及び不正行為に対する厳正な対処  
該当する事実はなかった。  
なお、不正行為を絶対防止するため、机の上に置くことが認められるもの※以外は、全てカバンや封筒にしまわせた上で、当該カバン等を足元に置かせた。試験中は、監督員が定期的に試験室内を巡回するよう指導している。  
※机の上に置けるもの・・・受験票、黒鉛筆及びシャープペンシル、鉛筆削り、消しゴム、定規、時計（アラームなど時計以外の機能は使用不可）、ハンカチ、ポケットティッシュ、目薬
- (e) マニュアルを厳格に適用することによる正確かつ公平な出欠確認及び受験資格の確認確認できた。
- (f) 受験者に配付した答案用紙及び受験票（本人控えは除く。）の全数回収。  
全て回収できた。
- (g) 回収した答案用紙への加筆及び訂正の防止について  
該当する事実はなかった。
- (h) 未使用答案用紙の欠席者及び部外者への流出防止  
該当する事実はなかった。
- (i) 個人情報の盗難、亡失及び漏洩の絶対防止  
該当する事実はなかった。
- (j) 試験日当日におけるクレームやトラブルの内容と対処結果  
該当する事実はなかった。
- (k) 試験会場の周辺住民の生活環境への配慮及び試験会場周辺での交通トラブルの防止  
管理員を配置したため、問題も発生せずクレームもなかった。

③平成 26 年 1 月～平成 26 年 12 月に実施した試験における調査項目ニの結果

表 4 受験申請者数及び実施経費

	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
実施事業 機関	情報処理 推進機構	ランスタッド株式会社			日本通運 株式会社
受験申請 者数	9,782	8,609	8,015	7,456	7,152
実施経費	14,082 千円	11,233 千円	11,521 千円	11,521 千円	9,758 千円

- \* 平成 26 年度から 28 年度の報酬の支払いは、請負契約金額を 3 等分している。
- \* 平成 26 年度春期試験については、平成 24 年度春期試験と比較して受験申請者が 10%を超えて減少したため、実施要項 2. (3)③に基づき機構と落札事業者が協議した結果、10%を超えて減少した受験申請者数 145 人分（1 回当たりの請負契約金額の 3.8%相当額 189 千円）を請負契約金額から減額した。

(5) 評価

市場化テストにより、落札事業者に委託した旧北海道支部の試験実施事業に係る調査項目の達成結果については、上記のとおりであり、過去、機構で実施していた時と同様に試験問題の事前漏洩等が無かったこと、会場確保は問題なく確保できたこと等から試験が滞りなく実施できたことは評価できる。

また、会場責任者をはじめ、副責任者、主任管理員や試験室のキーマンである主任監督員等全員を事業者の社員 100%で実施し、教育DVDの利用等、集合教育等の充実や実施態勢がより強化されたことにより、試験運営に関するサービスの質の確保につながった。

9. 仙台試験地

(1) 実施規模

表1 実施規模

	平成23 年度特別	平成23 年度秋期	平成24 年度春期	平成24 年度秋期	平成25 年度春期	平成25 年度秋期	平成26 年度春期	平成26 年度秋期
受験申請者数	2,876	2,904	2,649	2,768	2,311	2,587	2,190	2,410
会場数	5	4	2	4	3	6	3	4
事業実施機関	ランスタッド株式会社						日本通運株式会社	

※ 平成23年度特別試験の会場数は、6月実施分と7月実施分の延べ会場数である。  
平成23年度特別、23年度秋期の受験申請者数から、ITパスポート試験は除いている。

(2) 調査項目

- イ. 問題冊子の漏洩の数とその原因について
- ロ. 答案用紙の回収漏れの数とその原因について
- ハ. 試験日当日におけるクレームやトラブルの内容と対処方法について
- ニ. 実施経費

(3) 調査方法

機構は、民間事業者から受けた請負事業の実施状況の報告、民間事業者へのヒアリング、受験者からの問い合わせ結果、回収した答案枚数等を通じて把握した。

(4) 調査結果

①平成26年1月～平成26年12月に実施した試験における調査項目イ、ロの結果

表2 調査項目イ、ロの目標と実績

調査項目	平成23 年度特別	平成23 年度秋期	平成24 年度春期	平成24 年度秋期	平成25 年度春期	平成25 年度秋期	平成26 年度春期	平成26 年度秋期
試験問題の事前漏洩件数(実績)	0	0	0	0	0	0	0	0
答案用紙の回収漏れ件数(実績)	0	0	0	0	0	0	0	0
事業実施機関	ランスタッド株式会社						日本通運株式会社	

なお、事前漏洩を絶対防止するため、機構と落札事業者間で、原則、次のとおり処理を行っている。

- (a) 試験日2日前、機構が手配した問題冊子等輸送事業者の倉庫で、問題冊子等輸送事業者立ち会いの下、落札事業者は、問題等の箱数を確認する。確認後は、問題冊子等輸送事業者が厳重に保管する。
- (b) 落札事業者は、試験当日朝、問題冊子等輸送事業者が輸送してきた問題等を試験会場で受け取り、問題等の箱数を再確認するとともに、箱が未開梱であることを検品の上、問題冊子等輸送事

業者が試験会場内の試験会場事務局に搬入する。

- (c) 試験当日午前の試験開始時刻に間に合うよう、試験会場事務局内で、試験区分ごとに梱包された問題等を開梱し、試験室別に受験申請者数と同数の問題冊子、答案用紙をセットし、確認を行った後、試験監督員により試験室内に運び入れる。

②平成26年1月～平成26年12月に実施した試験における調査項目ハの結果

- (a) 機構の試験会場の借り上げ実績を参考とした概ね交通の便が良く、清潔かつ静かな環境を備えた受験申請者数全数の収容を可能とする試験会場の確保。

試験会場に関する結果については、事業者間の引継ぎも問題なく、表3のとおり公共交通機関を利用してアクセスすることが可能な会場（バス便の少ない会場では、臨時バスの手配）を選定しており、機構が示した条件を満たしていることを確認した。

表3 借用会場

(単位：人数)

試験会場	平成23年度特別	平成23年度秋期	平成24年度春期	平成24年度秋期	平成25年度春期	平成25年度秋期	平成26年度春期	平成26年度秋期
東北電子専門学校			1,418	1,159	765	849	715	828
東北文化学園大学		1,416	1,231		1,139		989	
仙台保健福祉専門学校	1,222							
仙台医療福祉専門学校（中央校舎本館）	729	708		792	407	695	486	505
仙台大原簿記情報公務員専門学校（中央校舎2号館）	311	303		293				557
仙台医療福祉専門学校（中央校舎3号館）	567	477		524				
仙台デザイン専門学校（中央校舎3号館ANNE X）	47					126		
TKP仙台カンファレンスセンター						271		
TKP仙台勾当台カンファレンスセンター						502		
TKP仙台西口ビジネスセンター						144		
代々木ゼミナール仙台校								520
合計	2,876	2,904	2,649	2,768	2,311	2,587	2,190	2,410
事業実施機関	ランスタッド株式会社						日本通運株式会社	

- (b) 試験の座席配置については、原則、1人用机は、隣の机と離して配置し、複数人数の長机では、隣席を空けて試験定員に応じて配置した。



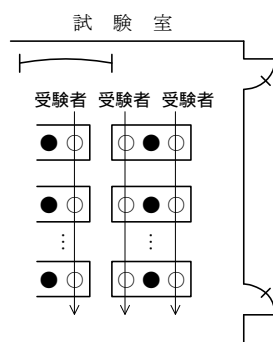


図 座席配置の例（『監督員マニュアル』から抜粋）

(c) 試験時間の過不足の防止について

平成 26 年度春期及び秋期の試験実施時、開始時刻が遅れた会場があったものの、それぞれ終了時刻を調整することで試験時間の過不足を生じないようにし、問題なく試験を実施することができた。

(d) 不正行為の防止及び不正行為に対する厳正な対処

該当する事実はなかった。

なお、不正行為を絶対防止するため、机の上に置くことが認められるもの<sup>\*</sup>以外は、全てカバンや封筒にしまわせた上で、当該カバン等を足元に置かせた。試験中は、監督員が定期的に試験室内を巡回するよう指導している。

※机の上に置けるもの・・・受験票、黒鉛筆及びシャープペンシル、鉛筆削り、消しゴム、定規、時計（アラームなど時計以外の機能は使用不可）、ハンカチ、ポケットティッシュ、目薬

(e) マニュアルを厳格に適用することによる正確かつ公平な出欠確認及び受験資格の確認確認できた。

(f) 受験者に配付した答案用紙及び受験票（本人控えは除く。）の全数回収。全て回収できた。

(g) 回収した答案用紙への加筆及び訂正の防止について  
該当する事実はなかった。

(h) 未使用答案用紙の欠席者及び部外者への流出防止  
該当する事実はなかった。

(i) 個人情報の盗難、亡失及び漏洩の絶対防止  
該当する事実はなかった。

(j) 試験日当日におけるクレームやトラブルの内容と対処結果  
該当する事実はなかった。

(k) 試験会場の周辺住民の生活環境への配慮及び試験会場周辺での交通トラブルの防止  
管理員を配置したため、問題も発生せずクレームもなかった。

③平成 26 年 1 月～平成 26 年 12 月に実施した試験における調査項目ニの結果

表 4 受験申請者数及び実施経費

	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
事業実施機関	独立行政法人 情報処理推進 機構	ランスタッド株式会社			日本通運 株式会社
受験申請者数	6,714	5,780	5,417	4,898	4,600
実施経費	15,518 千円	11,851 千円	11,851 千円	11,851 千円	9,043 千円

- \* 平成 26 年度から 28 年度の報酬の支払いは、請負契約金額を 3 等分している。
- \* 平成 26 年度春期試験については、平成 24 年度春期試験と比較して受験申請者が 10% を超えて減少したため、実施要項 2. (3)③に基づき機構と落札事業者が協議した結果、10% を超えて減少した受験申請者数 194 人分（1 回当たりの請負契約金額の 7.3%相当額 348 千円）を請負契約金額から減額した。
- \* 平成 26 年度秋期試験については、平成 24 年度秋期試験と比較して受験申請者が 10% を超えて減少したため、実施要項 2. (3)③に基づき機構と落札事業者が協議した結果、10% を超えて減少した受験申請者数 81 人分（1 回当たりの請負契約金額の 2.9%相当額 138 千円）を請負契約金額から減額した。

(5) 評価

市場化テストにより、落札事業者に委託した旧東北支部の試験実施事業に係る調査項目の達成結果については、上記のとおりであり、過去、機構で実施していた時と同様に試験問題の事前漏洩等が無かったこと、会場確保は事業者自身で確保できたこと等から試験が滞りなくできたことは評価できる。

また、会場責任者をはじめ、副責任者、主任管理員や試験室のキーマンである主任監督員等全員を事業者の社員 100%で実施し、教育DVDの利用等、集合教育等の充実や実施態勢がより強化されたことにより、試験運営に関するサービスの質の確保につながった。

10. 広島試験地

(1) 実施規模

表1 実施規模

	平成23年度特別	平成23年度秋期	平成24年度春期	平成24年度秋期	平成25年度春期	平成25年度秋期	平成26年度春期	平成26年度秋期
受験申請者数	2,919	2,910	2,568	2,856	2,271	2,593	2,568	2,856
会場数	3	3	3	3	3	3	3	3
事業実施機関	ランスタッド株式会社						株式会社 JTBビジネスサポート九州	

※ 平成23年度特別試験の会場数は、6月実施分と7月実施分の延べ会場数である。  
平成23年度特別、23年度秋期の受験申請者数から、ITパスポート試験は除いている。

(2) 調査項目

- イ. 問題冊子の漏洩の数とその原因について
- ロ. 答案用紙の回収漏れの数とその原因について
- ハ. 試験日当日におけるクレームやトラブルの内容と対処方法について
- ニ. 実施経費

(3) 調査方法

機構は、民間事業者から受けた請負事業の実施状況の報告、民間事業者へのヒアリング、受験者からの問い合わせ結果、回収した答案枚数等を通じて把握した。

(4) 調査結果

①平成26年1月～平成26年12月に実施した試験における調査項目イ、ロの結果

表2 調査項目イ、ロの目標と実績

調査項目	平成23年度特別	平成23年度秋期	平成24年度春期	平成24年度秋期	平成25年度春期	平成25年度秋期	平成26年度春期	平成26年度秋期
試験問題の事前漏洩件数(実績)	0	0	0	0	0	0	0	0
答案用紙の回収漏れ件数(実績)	0	0	0	0	0	0	0	0
事業実施機関	ランスタッド株式会社						株式会社 JTBビジネスサポート九州	

なお、事前漏洩を絶対防止するため、機構と落札事業者間で、原則、次のとおり処理を行っている。  
(a) 試験日2日前、機構が手配した問題冊子等輸送事業者の倉庫で、問題冊子等輸送事業者立ち会いの下、落札事業者は、問題等の箱数を確認する。確認後は、問題冊子等輸送事業者が厳重に保管する。

(b) 落札事業者は、試験当日朝、問題冊子等輸送事業者が輸送してきた問題等を試験会場で受け取り、問題等の箱数を再確認するとともに、箱が未開梱であることを検品の上、問題冊子等輸送事業者が試験会場内の試験会場事務局に搬入する。

(c) 試験当日午前の試験開始時刻に間に合うよう、試験会場事務局内で、試験区分ごとに梱包された問題等を開梱し、試験室別に受験申請者数と同数の問題冊子、答案用紙をセットし、確認を行った後、試験監督員により試験室内に運び入れる。

②平成 26 年 1 月～平成 26 年 12 月に実施した試験における調査項目ハの結果

(a) 機構の試験会場の借り上げ実績を参考とした概ね交通の便が良く、清潔かつ静かな環境を備えた受験申請者数全数の収容を可能とする試験会場の確保。

試験会場に関する結果は、事業者間の引継ぎも問題なく、表 3 のとおり公共交通機関を利用してアクセスすることが可能な会場を選定しており、機構が示した条件を満たしていることを確認した。

表 3 借用会場

(単位：人数)

試験会場	平成 23 年度特 別	平成 23 年度秋 期	平成 24 年度春 期	平成 24 年度秋 期	平成 25 年度春 期	平成 25 年度秋 期	平成 26 年度春 期	平成 26 年度秋 期
広島工業大学	1,304	1,295	841	1,729	1,217	1,617	1,480	1,688
広島情報専門学校	506	420	500	440	460	411	300	350
県立広島大学	1,109	1,195	1,227	687	594	565	300	490
合計	2,919	2,910	2,568	2,856	2,271	2,593	2,080	2,528
事業実施機関	ランスタッド株式会社						株式会社 JTBビジネスサ ポート九州	

(b) 試験の座席配置については、原則、1 人用机は、隣の机と離して配置し、複数人数の長机では、隣席を空けて試験定員に応じて配置した。

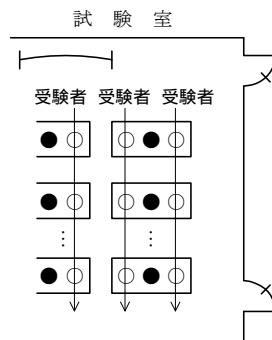


図 座席配置の例 (『監督員マニュアル』から抜粋)

(c) 試験時間の過不足の防止について

平成 26 年度春期の試験実施時、開始時刻が遅れた会場があったものの、終了時刻を調整することで試験時間の過不足を生じないようにし、問題なく試験を実施することができた。

- (d) 不正行為の防止及び不正行為に対する厳正な対処  
 該当する事実はなかった。  
 なお、不正行為を絶対防止するため、机の上に置くことが認められるもの\*以外は、全てカバンや封筒にしまわせた上で、当該カバン等を足元に置かせた。試験中は、監督員が定期的に試験室内を巡回するよう指導している。  
 ※机の上に置けるもの・・・受験票、黒鉛筆及びシャープペンシル、鉛筆削り、消しゴム、定規、時計(アラームなど時計以外の機能は使用不可)、ハンカチ、ポケットティッシュ、目薬
- (e) マニュアルを厳格に適用することによる正確かつ公平な出欠確認及び受験資格の確認確認できた。
- (f) 受験者に配付した答案用紙及び受験票(本人控えは除く。)の全数回収。  
 全て回収できた。
- (g) 回収した答案用紙への加筆及び訂正の防止について  
 該当する事実はなかった。
- (h) 未使用答案用紙の欠席者及び部外者への流出防止  
 該当する事実はなかった。
- (i) 個人情報の盗難、亡失及び漏洩の絶対防止  
 該当する事実はなかった。
- (j) 試験日当日におけるクレームやトラブルの内容と対処結果  
 該当する事実はなかった。
- (k) 試験会場の周辺住民の生活環境への配慮及び試験会場周辺での交通トラブルの防止  
 警備員を配置したため、問題も発生せずクレームもなかった。

③平成26年1月～平成26年12月に実施した試験における調査項目ニの結果

表4 受験申請者数及び実施経費

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
事業実施機関	株式会社ICS コンベンションデザイン	ランスタッド株式会社			株式会社 JTBビジネスサポート九州
受験申請者数	6,610	5,829	5,424	4,864	4,608
実施経費	8,611千円	9,158千円	9,158千円	9,158千円	7,777千円

\* 平成26年度から28年度の報酬の支払いは、請負契約金額を3等分している。

\* 平成26年度春期試験については、平成24年度春期試験と比較して受験申請者が10%を超えて減少したため、実施要項2.(3)③に基づき機構と落札事業者が協議した結果、10%

を超過して減少した受験申請者数 231 人分（1 回当たりの請負契約金額の 9.0%相当額 369 千円）を請負契約金額から減額した。

- \* 平成 26 年度秋期試験については、平成 24 年度秋期試験と比較して受験申請者が 10% を超過して減少したため、実施要項 2. (3)③に基づき機構と落札事業者が協議した結果、10% を超過して減少した受験申請者数 42 人分(1 回当たりの請負契約金額の 1.5%相当額 62 千円) を請負契約金額から減額した。

#### (5) 評価

市場化テストにより、落札事業者に委託した旧中国支部の試験実施事業に係る調査項目の達成結果については、上記のとおりであり、過去、機構で実施していた時と同様に試験問題の事前漏洩等が無かったこと、会場確保は問題なく確保できたこと等から試験が滞りなく実施できたことは評価できる。

また、毎試験時、会場責任者、副責任者については社員が務めており、主任管理員や試験室のキーマンである主任監督員等について経験者をできる限り採用していること及び集合教育を実施していることが、試験運営に関するサービスの質の確保につながった。

1.1. 高松試験地

(1) 実施規模

表1 実施規模

	平成23 年度特別	平成23 年度秋期	平成24 年度春期	平成24 年度秋期	平成25 年度春期	平成25 年度秋期	平成26 年度春期	平成26 年度秋期
受験申請者数	850	792	780	847	703	732	647	720
会場数	1	1	1	1	1	2	1	1
事業実施機関	株式会社全国試験運営センター						株式会社全国試験 運営センター	

※ 平成23年度特別試験の会場数は、6月実施分と7月実施分の延べ会場数である。  
平成23年度特別、23年度秋期の受験申請者数から、ITパスポート試験は除いている。

(2) 調査項目

- イ. 問題冊子の漏洩の数とその原因について
- ロ. 答案用紙の回収漏れの数とその原因について
- ハ. 試験日当日におけるクレームやトラブルの内容と対処方法について
- ニ. 実施経費

(3) 調査方法

機構は、民間事業者から受けた請負事業の実施状況の報告、民間事業者へのヒアリング、受験者からの問い合わせ結果、回収した答案枚数等を通じて把握した。

(4) 調査結果

①平成26年1月～平成26年12月に実施した試験における調査項目イ、ロの結果

表2 調査項目イ、ロの目標と実績

調査項目	平成23 年度特別	平成23 年度秋期	平成24 年度春期	平成24 年度秋期	平成25 年度春期	平成25 年度秋期	平成26 年度春期	平成26 年度秋期
試験問題の事前漏洩件数(実績)	0	0	0	0	0	0	0	0
答案用紙の回収漏れ件数(実績)	0	0	0	0	0	0	0	0
事業実施機関	株式会社全国試験運営センター						株式会社全国試験 運営センター	

なお、事前漏洩を絶対防止するため、機構と落札事業者間で、原則、次のとおり処理を行っている。

(a) 試験日2日前、機構が手配した問題冊子等輸送事業者の倉庫で、問題冊子等輸送事業者立ち会いの下、落札事業者は、問題等の箱数を確認する。確認後は、問題冊子等輸送事業者が厳重に保管する。

(b) 落札事業者は、試験当日朝、問題冊子等輸送事業者が輸送してきた問題等を試験会場で受け取

り、問題等の箱数を再確認するとともに、箱が未開梱であることを検品の上、問題冊子等輸送事業者が試験会場内の試験会場事務局に搬入する。

(c) 試験当日午前の試験開始時刻に間に合うよう、試験会場事務局内で、試験区分ごとに梱包された問題等を開梱し、試験室別に受験申請者数と同数の問題冊子、答案用紙をセットし、確認を行った後、試験監督員により試験室内に運び入れる。

②平成 26 年 1 月～平成 26 年 12 月に実施した試験における調査項目ハの結果

(a) 機構の試験会場の借り上げ実績を参考とした概ね交通の便が良く、清潔かつ静かな環境を備えた受験申請者数全数の収容を可能とする試験会場の確保。

試験会場に関する結果は表 3 のとおり、公共交通機関を利用してアクセスすることが可能な会場（バス便の少ない会場へは、臨時バスの手配）を選定しており、機構が示した条件を満たしていることを確認した。

表 3 借用会場

(単位：人数)

試験会場	平成 23 年度特別	平成 23 年度秋期	平成 24 年度春期	平成 24 年度秋期	平成 25 年度春期	平成 25 年度秋期	平成 26 年度春期	平成 26 年度秋期
香川大学（教育学部）			780		703		647	
英明高等学校		792		847				720
香川大学（工学部）	850					459		
高松センタービル						273		
合計	850	792	780	847	703	732	647	720
事業実施機関	株式会社全国試験運営センター						株式会社全国試験運営センター	

(b) 試験の座席配置については、原則、1 人用机は、隣の机と離して配置し、複数人数の長机では、隣席を空けて試験定員に応じて配置した。

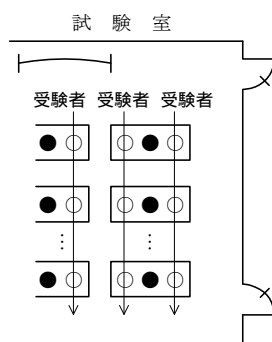


図 座席配置の例（『監督員マニュアル』から抜粋）

(c) 試験時間の過不足の防止について

平成 26 年度秋期の試験実施時、開始時刻が遅れた会場があったものの、それぞれ終了時刻を調整することで試験時間の過不足を生じないようにし、問題なく試験を実施することができた。



- (d) 不正行為の防止及び不正行為に対する厳正な対処  
 該当する事実はなかった。  
 なお、不正行為を絶対防止するため、机の上に置くことが認められるもの\*以外は、全てカバンや封筒にしまわせた上で、当該カバン等を足元に置かせた。試験中は、監督員が定期的に試験室内を巡回するよう指導している。  
 ※机の上に置けるもの・・・受験票、黒鉛筆及びシャープペンシル、鉛筆削り、消しゴム、定規、時計(アラームなど時計以外の機能は使用不可)、ハンカチ、ポケットティッシュ、目薬
- (e) マニュアルを厳格に適用することによる正確かつ公平な出欠確認及び受験資格の確認確認できた。
- (f) 受験者に配付した答案用紙及び受験票(本人控えは除く。)の全数回収。  
 全て回収できた。
- (g) 回収した答案用紙への加筆及び訂正の防止について  
 該当する事実はなかった。
- (h) 未使用答案用紙の欠席者及び部外者への流出防止  
 該当する事実はなかった。
- (i) 個人情報の盗難、亡失及び漏洩の絶対防止  
 該当する事実はなかった。
- (j) 試験日当日におけるクレームやトラブルの内容と対処結果  
 該当する事実はなかった。
- (k) 試験会場の周辺住民の生活環境への配慮及び試験会場周辺での交通トラブルの防止  
 警備員を配置したため、問題も発生せずクレームもなかった。

③平成26年1月～平成26年12月に実施した試験における調査項目ニの結果

表4 受験申請者数及び実施経費

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
事業実施機関	株式会社全国試験運営センター	株式会社全国試験運営センター			株式会社全国試験運営センター
受験申請者数	1,754	1,642	1,627	1,435	1,367
実施経費	4,214千円	4,019千円	4,019千円	4,019千円	2,974千円

- \* 平成23年度及び25年度の報酬の支払いは、請負契約金額を3等分している。
- \* 平成26年度から28年度の報酬の支払いは、請負契約金額を3等分している。
- \* 平成26年度春期試験については、平成24年度春期試験と比較して受験申請者が10%

を超過して減少したため、実施要項 2. (3)③に基づき機構と落札事業者が協議した結果、10%を超過して減少した受験申請者数 55 人分（1 回当たりの請負契約金額の 7.1%相当額 112 千円）を請負契約金額から減額した。

\* 平成 26 年度秋期試験については、平成 24 年度秋期試験と比較して受験申請者が 10%を超過して減少したため、実施要項 2. (3)③に基づき機構と落札事業者が協議した結果、10%を超過して減少した受験申請者数 42 人分（1 回当たりの請負契約金額の 5.0%相当額 79 千円）を請負契約金額から減額した。

#### (5) 評価

市場化テストにより、落札事業者に委託した旧四国支部の試験実施事業に係る調査項目の達成結果については、上記のとおりであり、過去、機構で実施していた時と同様に試験問題の事前漏洩等が無かったこと、会場確保は問題なく確保できたこと等から試験が滞りなく実施できたことは評価できる。

また、毎試験時、会場責任者、副責任者及び試験室のキーマンである主任監督員に対して、集合教育を実施していることが、試験運営に関するサービスの質の確保につながった。

## 1.2. 福岡試験地

### (1) 実施規模

表1 実施規模

	平成23 年度特別	平成23 年度秋期	平成24 年度春期	平成24 年度秋期	平成25 年度春期	平成25 年度秋期	平成26 年度春期	平成26 年度秋期
受験申請者数	4,904	5,008	4,646	4,915	4,132	4,877	4,014	4,735
会場数	5	4	3	2	2	2	2	2
事業実施機関	ランスタッド株式会社						日本通運株式会社	

※ 平成23年度特別試験の会場数は、6月実施分と7月実施分の延べ会場数である。  
平成23年度特別、23年度秋期の受験申請者数から、ITパスポート試験は除いている。

### (2) 調査項目

- イ. 問題冊子の漏洩の数とその原因について
- ロ. 答案用紙の回収漏れの数とその原因について
- ハ. 試験日当日におけるクレームやトラブルの内容と対処方法について
- ニ. 実施経費

### (3) 調査方法

機構は、民間事業者から受けた請負事業の実施状況の報告、民間事業者へのヒアリング、受験者からの問い合わせ結果、回収した答案枚数等を通じて把握した。

### (4) 調査結果

- ①平成26年1月～平成26年12月に実施した試験における調査項目イ、ロの結果

表2 調査項目イ、ロの目標と実績

調査項目	平成23 年度特別	平成23 年度秋期	平成24 年度春期	平成24 年度秋期	平成25 年度春期	平成25 年度秋期	平成26 年度春期	平成26 年度秋期
試験問題の事前漏洩件数(実績)	0	0	0	0	0	0	0	0
答案用紙の回収漏れ件数(実績)	0	0	0	0	0	0	0	0
事業実施機関	ランスタッド株式会社						日本通運株式会社	

なお、事前漏洩を絶対防止するため、機構と落札事業者間で、原則、次のとおり処理を行っている。

(a) 試験日2日前、機構が手配した問題冊子等輸送事業者の倉庫で、問題冊子等輸送事業者立ち会いの下、落札事業者は、問題等の箱数を確認する。確認後は、問題冊子等輸送事業者が厳重に保管する。

(b) 落札事業者は、試験当日朝、問題冊子等輸送事業者が輸送してきた問題等を試験会場で受け取

り、問題等箱数を再確認するとともに、問題箱等が未開梱であることを検品の上、問題冊子等輸送事業者が試験会場内の試験会場事務局に搬入する。

(c) 試験当日午前の試験開始時刻に間に合うよう、試験会場事務局内で、試験区分ごとに梱包された問題等を開梱し、試験室別に受験申請者数と同数の問題冊子、答案用紙をセットし、確認を行った後、試験監督員により試験室内に運び入れる。

②平成 26 年 1 月～平成 26 年 12 月に実施した試験における調査項目ハの結果

(a) 機構の試験会場の借り上げ実績を参考とした概ね交通の便が良く、清潔かつ静かな環境を備えた受験申請者数全数の収容を可能とする試験会場の確保。

試験会場に関する結果は、事業者間の引継ぎも問題なく、表 3 のとおり公共交通機関を利用してアクセスすることが可能な会場を選定しており、機構が示した条件を満たしていることを確認した。

表 3 借用会場

(単位：人数)

試験会場	平成 23 年度特 別	平成 23 年度秋 期	平成 24 年度春 期	平成 24 年度秋 期	平成 25 年度春 期	平成 25 年度秋 期	平成 26 年度春 期	平成 26 年度秋 期
福岡工業大学		1,413	1,990	3,650	3,073	3,653	2,977	3,540
福岡工業大学 2		1,251						
純真学園大学 (東和大学)	756							
第一薬科大学	1,279							
K C S 福岡情報専門学校	1,473	1,070	1,167	1,265	1,059	1,224	1,037	1,195
九州産業大学	1396	1,274						
西南学院大学			1,489					
合計	4,904	5,008	4,646	4,915	4,132	4,877	4,014	4,735
事業実施機関	ランスタッド株式会社						日本通運株式会社	

(b) 試験の座席配置については、原則、1 人用机は、隣の机と離して配置し、複数人数の長机では、隣席を空けて試験定員に応じて配置した。

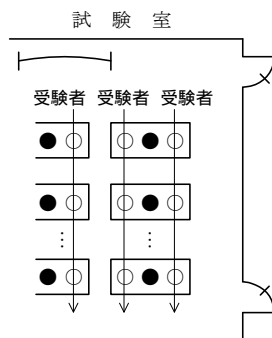


図 座席配置の例 (『監督員マニュアル』から抜粋)

(c) 試験時間の過不足の防止について

平成 26 年度秋期の試験実施時、開始時刻が遅れた会場があったものの、終了時刻を調整することで試験時間の過不足を生じないようにし、問題なく試験を実施することができた。

(d) 不正行為の防止及び不正行為に対する厳正な対処

該当する事実はなかった。

なお、不正行為を絶対防止するため、机上に置くことが認められるもの<sup>※</sup>以外は、全てカバンや封筒にしまわせた上で、当該カバン等を足元に置かせた。試験中は、監督員が定期的に試験室内を巡回するよう指導している。

※机上に置けるもの・・・受験票、黒鉛筆及びシャープペンシル、鉛筆削り、消しゴム、定規、時計(アラームなど時計以外の機能は使用不可)、ハンカチ、ポケットティッシュ、目薬

(e) マニュアルを厳格に適用することによる正確かつ公平な出欠確認及び受験資格の確認確認できた。

(f) 受験者に配付した答案用紙及び受験票(本人控えは除く。)の全数回収。全て回収できた。

(g) 回収した答案用紙への加筆及び訂正の防止について  
該当する事実はなかった。

(h) 未使用答案用紙の欠席者及び部外者への流出防止  
該当する事実はなかった。

(i) 個人情報の盗難、亡失及び漏洩の絶対防止  
該当する事実はなかった。

(j) 試験日当日におけるクレームやトラブルの内容と対処結果  
該当する事実はなかった。

(k) 試験会場の周辺住民の生活環境への配慮及び試験会場周辺での交通トラブルの防止  
警備員を配置したため、問題も発生せずクレームもなかった。

③平成 26 年 1 月～平成 26 年 12 月に実施した試験における調査項目ニの結果

表 4 受験申請者数及び実施経費

	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
事業実施機関	情報処理推進機構	ランスタッド株式会社			日本通運株式会社
受験申請者数	10,990	9,912	9,561	9,009	8,749
実施経費	24,146 千円	16,789 千円	16,789 千円	16,789 千円	12,479 千円

- \* 平成 26 年度から 28 年度の報酬の支払いは、請負契約金額を 3 等分している。
- \* 平成 26 年度春期試験については、平成 24 年度春期試験と比較して受験申請者が 10% を超えて減少したため、実施要項 2. (3)③に基づき機構と落札事業者が協議した結果、10%を超えて減少した受験申請者数 167 人分（1 回当たりの請負契約金額の 3.6%相当額 229 千円）を請負契約金額から減額した。

#### (5) 評価

市場化テストにより、落札事業者に委託した旧九州支部の試験実施事業に係る調査項目の達成結果については、上記のとおりであり、過去、機構で実施していた時と同様に試験問題の事前漏洩等が無かったこと、会場確保は問題なく確保できたこと等から試験が滞りなく実施できたことは評価できる。

また、会場責任者をはじめ、副責任者、主任管理員や試験室のキーマンである主任監督員等を事業者の社員 100%で実施し、教育DVDの利用等、集合教育等の充実や実施態勢がより強化されたことにより、試験運営に関するサービスの質の確保につながった。

### 1.3. 那覇試験地

#### (1) 実施規模

表1 実施規模

	平成23 年度特別	平成23 年度秋期	平成24 年度春期	平成24 年度秋期	平成25 年度春期	平成25 年度秋期	平成26 年度春期	平成26 年度秋期
受験申請者数	1,236	1,158	1,065	1,183	1,048	1,090	944	1,098
会場数	2	2	1	1	1	1	1	1
事業実施機関	那覇商工会議所						那覇商工会議所	

※ 平成23年度特別試験の会場数は、6月実施分と7月実施分の延べ会場数である。  
平成23年度特別、23年度秋期の受験申請者数から、ITパスポート試験は除いている。

#### (2) 調査項目

- イ. 問題冊子の漏洩の数とその原因について
- ロ. 答案用紙の回収漏れの数とその原因について
- ハ. 試験日当日におけるクレームやトラブルの内容と対処方法について
- ニ. 実施経費

#### (3) 調査方法

機構は、民間事業者から受けた請負事業の実施状況の報告、民間事業者へのヒアリング、受験者からの問い合わせ結果、回収した答案枚数等を通じて把握した。

#### (4) 調査結果

①平成26年1月～平成26年12月に実施した試験における調査項目イ、ロの結果

表2 調査項目イ、ロの目標と実績

調査項目	平成23 年度特別	平成23 年度秋期	平成24 年度春期	平成24 年度秋期	平成25 年度春期	平成25 年度秋期	平成26 年度春期	平成26 年度秋期
試験問題の事前漏洩件数(実績)	0	0	0	0	0	0	0	0
答案用紙の回収漏れ件数(実績)	0	0	0	0	0	0	0	0
事業実施機関	那覇商工会議所						那覇商工会議所	

なお、事前漏洩を絶対防止するため、機構と落札事業者間で、原則、次のとおり処理を行っている。

- (a) 試験日2日前、機構が手配した問題冊子等輸送事業者の倉庫で、問題冊子等輸送事業者立ち会いの下、落札事業者は、問題等の箱数を確認する。確認後は、問題冊子等輸送事業者が厳重に保管する。
- (b) 落札事業者は、試験当日朝、問題冊子等輸送事業者が輸送してきた問題等を試験会場で受け取り、問題等の箱数を再確認するとともに、箱が未開梱であることを検品の上、問題冊子等輸送事

業者が試験会場内の試験会場事務局に搬入する。

- (c) 試験当日午前の試験開始時刻に間に合うよう、試験会場事務局内で、試験区分ごとに梱包された問題等を開梱し、試験室別に受験申請者数と同数の問題冊子、答案用紙をセットし、確認を行った後、試験監督員により試験室内に運び入れる。

②平成 26 年 1 月～平成 26 年 12 月に実施した試験における調査項目ハの結果

- (a) 機構の試験会場の借り上げ実績を参考とした概ね交通の便が良く、清潔かつ静かな環境を備えた受験申請者数全数の収容を可能とする試験会場の確保。

結果は、試験会場は表 3 のとおり、公共交通機関を利用してアクセスすることが可能な会場を選定しており、機構が示した条件を満たしていることを確認した。

表 3 借用会場

(単位：人数)

試験会場	平成 23年 度特別	平成 23年 度秋期	平成 24年 度春期	平成 24年 度秋期	平成 25年 度春期	平成 25年 度秋期	平成 26年 度春期	平成 26年 度秋期
沖縄大学	1,157	693	1,065	1,183	1,048	1,090	944	1,098
県立南部商業高等学校	79	465						
事業実施機関	那覇商工会議所						那覇商工会議所	

- (b) 試験の座席配置については、原則、1人用机は、隣の机と離して配置し、複数人数の長机では、隣席を空けて試験定員に応じて配置した。

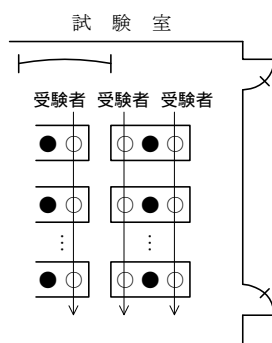


図 座席配置の例 (『監督員マニュアル』から抜粋)

- (c) 試験時間の過不足の防止について  
該当する事実はなかった。

- (d) 不正行為の防止及び不正行為に対する厳正な対処  
該当する事実はなかった。

なお、不正行為を絶対防止するため、机の上に置くことが認められるもの\*以外は、全てカバンや封筒にしまわせた上で、当該カバン等を足元に置かせた。試験中は、監督員が定期的に試験室内を巡回するよう指導している。

\*机の上に置けるもの・・・受験票、黒鉛筆及びシャープペンシル、鉛筆削り、消しゴム、



定規、時計(アラームなど時計以外の機能は使用不可)、ハンカチ、  
ポケットティッシュ、目薬

- (e) マニュアルを厳格に適用することによる正確かつ公平な出欠確認及び受験資格の確認確認できた。
- (f) 受験者に配付した答案用紙及び受験票(本人控えは除く。)の全数回収。全て回収できた。
- (g) 回収した答案用紙への加筆及び訂正の防止について該当する事実はなかった。
- (h) 未使用答案用紙の欠席者及び部外者への流出防止該当する事実はなかった。
- (i) 個人情報の盗難、亡失及び漏洩の絶対防止該当する事実はなかった。
- (j) 試験日当日におけるクレームやトラブルの内容と対処結果該当する事実はなかった。
- (k) 試験会場の周辺住民の生活環境への配慮及び試験会場周辺での交通トラブルの防止警備員を配置したため、問題も発生せずクレームもなかった。

③平成26年1月～平成26年12月に実施した試験における調査項目ニの結果

表4 受験申請者数及び実施経費

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
事業実施機関	那覇商工会議所	那覇商工会議所			那覇商工会議所
受験申請者数	2,701	2,394	2,248	2,138	2,042
実施経費	3,333千円	4,687千円	4,687千円	4,687千円	3,940千円

- \* 平成26年度から28年度の報酬の支払いは、請負契約金額を3等分している。
- \* 平成26年度春期試験については、平成24年度春期試験と比較して受験申請者が10%を超えて減少したため、実施要項2.(3)③に基づき機構と落札事業者が協議した結果、10%を超えて減少した受験申請者数14人分(1回当たりの請負契約金額の1.4%相当額28千円)を請負契約金額から減額した。

(5) 評価

市場化テストにより、落札事業者に委託した旧沖縄支部の試験実施事業に係る調査項目の達成結果については、上記のとおりであり、過去、機構で実施していた時と同様に試験問題の事前漏洩等が無かったこと、会場確保は問題なく確保できたこと等から試験が滞りなく実施できたことは評価

できる。

また、毎試験時、会場責任者、副責任者、主任管理員等については社員が務めており、落札事業者内の集合教育には、派遣会社に依頼している主任監督員等を教育する派遣会社の社員も参加していること及び派遣会社に依頼している主任監督員等も、できる限り同じ者を採用していることが、試験運営に関するサービスの質の確保につながった。

#### 14. まとめ

##### (1) 落札事業者決定の経緯

入札参加者はすべての地域で2者以上であり、いずれも入札参加資格及び必須審査項目を満たしていた。

また、当該地域ごとに開札したところ、東京及び近畿地域においては、予定価格を上回る価格であったため、複数回再入札を行い、予定価格の範囲内での落札となった。

なお、那覇試験地は前は1者入札であったが、今回は4者の入札があった。

表1 試験地（地域）ごとの入札参加者数

東京地域	東京周辺地域	名古屋地域	近畿地域	札幌	仙台	広島	高松	福岡	那覇
2者	2者	3者	2者	3者	4者	5者	5者	6者	4者

##### (2) 実施経費

実施経費と従来経費との比較については、平成26年度（春期、秋期の試験2回分）と機構側が実施していた際の直前年度（春期、秋期の試験2回分）で比較しており、その結果は以下のとおりである。なお、実施経費は、請負契約金額を3等分しており、経費を比較するにあたり、従来経費については、初級システムアドミニストレータ試験及びITパスポート試験に要した経費を除外している。

表2 市場化テスト導入前との経費の比較（税込）

（単位：千円）

試験地	従来経費 (A)	実施経費 (B)	削減額 (B-A)	削減率
東京地域	347,430 (H23)	289,980	△ 57,450	17%
東京周辺地域	262,229 (H23)	216,050	△ 46,179	18%
名古屋地域	45,601 (H23)	34,658	△ 10,943	24%
近畿地域	101,340 (H23)	100,353	△ 987	1%
札幌試験地	14,082 (H22)	9,758	△ 4,324	31%
仙台試験地	15,518 (H22)	9,043	△ 6,475	42%
広島試験地	11,185 (H20)	7,777	△ 3,408	30%
高松試験地	5,190 (H19)	2,974	△ 2,216	43%
福岡試験地	24,146 (H22)	12,479	△ 11,667	48%
那覇試験地	1,829 (H19)	3,940	2,111	△ 115%
合計	828,550	687,012	△ 141,538	17%

※ 東京地域を除く地域では、平成24年度春期又は秋期試験と比較して受験申請者が10%を超えて減少したため、実施要項2.(3)③に基づき機構と落札事業者で協議した結果、10%を超えて減少した期について報酬金額を減額した。

対象地域ごとに見ると那覇試験地以外では全ての地域で従来経費に比べ下がっており、那覇試験地においては、従来経費より増加しているが、これは、同試験地の落札事業者が、市場化テスト第1及び2

期目と同じであり、2期目より今期は下がっていることから、これまでの実施状況を踏まえた経費の算定がよりできるようになったこと、受験申請者数の増減を踏まえたことによるものである。

なお、全体で見ると実施経費 687,012 千円は、従来経費の約 83%に相当し、機構は約 140,976 千円の経費が削減されている。

### (3) 契約監視委員会での意見

落札事業者による事業の実施状況の評価等を行うにあたり、当機構に設置されている「契約監視委員会」(評価委員会)に報告し、当該事業が的確に遂行されていたものと考えするという旨の意見を得た。

また、実施経費も削減されており良好な実施結果も得られていることから市場化テストを終了し、当機構の責任において実施することに問題はないものと考えするという旨の意見も得た。

### (4) 終了プロセスへの移行

新プロセス移行後も、これまで行ってきた事業者の実施状況を鑑みると試験運営に関するサービスの質は確保されており、安定して事業を行うことができると評価している。

したがって、次期事業においては、「市場化テスト終了プロセス及び新プロセス運用に関する指針」に基づく終了プロセスへ移行した上で、事業を実施することとしたい。